

岐阜県博物館報

第47号

2024
岐阜県博物館

はじめに

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和51年5月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心とした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

令和5年度は、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、以前のような日常が戻り始めた1年間でした。様々な制約も解除される中、岐阜県博物館でも館内での展覧会（特別展、企画展、マイミュージアムギャラリー展示）のほか、外部機関との連携企画展や移動展を開催しました。

特別展「岐阜の祭り みんなのこころ粹」では、豊かな自然環境のもと、地域の生活や文化と深くかかわってきた岐阜県の祭りをとりあげ、古くから伝承されている「祭り」への今後の参加、祭りを伝承しようとする思いを高める展示を行いました。特別展「出かけよう！0→3,000mの旅 ―植物が彩る物語―」では、海拔0mから標高3,000mまでの旅路を辿り、植物を中心とした岐阜の豊かな自然が彩る物語について紹介する展示を行いました。企画展「錦絵からみた武士の世界」では、岐阜県博物館が収蔵する数多くの錦絵のうち、歴史や伝説で勇ましい活躍をする侍・武士に焦点を当てて紹介しました。企画展「美しき鉱物の世界」では、色彩が豊かな鉱物や不思議な形の岩石など、鉱物や岩石の魅力を紹介しました。

また、博物館・図書館連携企画展「岐阜の城館探訪Ⅱ ―最近の調査成果からみた岐阜の戦国―」、移動展「絶滅から救え！ぎふの鳥ライチョウ」、博物館・岐阜大学・名古屋大学博物館連携企画展「おもしろい骨のはなし ―しらべる・つくる・のこす―」等、館外で開催する展覧会も実施することができました。このほかにもマイミュージアムギャラリーでは、岐阜県にゆかりのある方が収集し所蔵するコレクションや、生涯学習で得た成果を展示公開する場として全6回の展示を行い、多くの来館者に展示を見ていただくことができました。

令和6年度も多くの展覧会の開催を計画しております。特別展「ポケモン化石博物館」では、人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するふしぎな生き物「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を見比べて、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学ぶ展覧会を開催します。企画展「返還30年 岐阜の赤羽刀総覧 ―美濃伝をたどる―」では、赤羽刀返還から30年になることを機に、岐阜県内で受領された赤羽刀を総覧する展覧会を関市と連携して開催します。博物館・文化財保護センター連携企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史 ―古代・中世寺院跡総合調査の成果より―」では、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査の成果報告と、県内の主な寺院跡の発掘調査の出土品を展示し紹介する展覧会を開催します。

このほか、博物館・図書館連携企画展、移動展等、館外の県内各地で開催する展覧会や、令和元年度から保存活用事業を進めていた登録有形文化財旧宮川家住宅主屋の一般公開も再開します。また、三重県総合博物館（MieMu）との交流企画講演会を含む全14回の講演会や、収蔵庫探検などを含む全23回のけんぱく教室の開催など、広く県民の皆様が親しみ、学んでいただける催し物を多数計画しております。加えて、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、民間商業施設との連携イベント、収蔵品や資料の館外展示による観覧機会の提供など、より一層の魅力発信に努めてまいります。

ここに、令和5年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第47号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のために引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年4月1日

岐阜県博物館長 丹羽和也

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 令和6年度の組織・体制

1 職員	6
2 展示活動	7

III 令和5年度のあゆみ

1 職員	9
2 岐阜県博物館協議会	10
3 日誌抄	
4 実施事業の概要	11
5 展示活動	12
6 調査研究活動	24
7 資料収集活動	29
8 教育普及活動	30
9 利用状況	41
10 博物館関係団体	42

IV 利用案内（令和6年度）

43

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学、古生物）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

（1）資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

（2）展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数

本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示
- ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
- ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
- ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ・解説が明確で分かりやすい展示
- 各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
- ・人文展示室（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」・・・先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
- ・自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」・・・郷土の自然の概要を系統的に展示する。
- ・自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」・・・特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
- ・特別展示室、企画展示室
一定期間に、特定のテーマを設定して、資料紹介するなど、年に数本の特別展・企画展を行う。特別展期間中の企画展示室や企画展期間中の特別展示室では、人文課題展示を行う。

（3）調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

（4）教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。
- ・サポーターとの協働活動を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

4 沿革

		昭和62年 4月	特別展「飛驒の弥生時代」 入館者110万人を突破	7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典 挙行、一般公開	
昭和46年 3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において博物館建設決定		7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	8月	恐竜ゼミナールGIFU'95開催
	4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	10月	特別展「飛驒の匠」 旧徳山村民家移築復元	10月	特別展「美濃・飛驒の古代史発掘～律令国家の時代～」 入定三百年記念「円空展」（共催名古屋市） 「マルチメディア工房ざぶ」開設（県下第1号）
	6～9月	博物館懇談会を設ける	昭和63年 1月	自然展示室1を改装		
昭和47年 4月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける		4月	特別展示室ショーケース改修		
昭和48年 8月	起上式挙行		7月	特別展「ふるさとの湿原」		
昭和49年 3月	展示実施計画樹立		10月	特別展「中生代の化石」 入館者120万人を突破	平成 8年 4月	高校生常設展入館料無料化
	10月	定礎式	平成元年 4月	特別展「濃飛の古墳時代」	5月	入館者170万人を突破
昭和50年 3月	展示工事着手		7月	特別展「ふるさとの野鳥」	7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
	7月	本館建築竣工	8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見	8月	アメリカ合衆国ユタ州プリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙行
昭和51年 1月	展示工事完了		10月	特別展「移ろいゆく年中行事」	10月	飛驒美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」
	4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了	11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊寄贈	11月	飛驒美濃合併120周年記念「文化講演会」（阿川弘之氏、山田智彦氏（作家））
	5月	開館記念式典挙行 一般公開「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」	平成 2年 4月	特別展「輪中と治水」	平成 9年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 中山道編ソフト完成
	7月	皇太子・同妃殿下行啓	7月	特別展「白山の自然」 恐竜足跡化石レプリカ除幕式	4月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」
	8月	特別展「ふるさとの文楽」 入館者10万人を突破	10月	特別展「濃飛の仏像」	9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」 入館者180万人を突破
	10月	入館料徴収開始	12月	岐阜県博物館協議会から中間答申	11月	棚橋賞受賞「岐阜県博物館「マイ・ミュージアム」～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」
	11月	特別展「熊谷守一展」	平成 3年 3月	岐阜県博物館案内標識を設置	平成10年 3月	財団法人日本博物館協会表彰 ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 飛驒街道・郡上街道編ソフト完成
昭和52年 5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」 入館者20万人を突破		4月	特別展「ふるさとの木の文化」	4月	アロサウルス骨格標本展示
	7月	特別展「郷土の化石展」	7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」	7月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
	11月	特別展「鉄斎」	10月	置県120年・岐阜鹿兒島姉妹県盟約20周年記念展「鹿兒島～その自然と歴史～」	9月	特別展「つものつかむし」
昭和53年 4月	入館者30万人を突破		11月	入館者140万人を突破	9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」
	7月	特別展「世界のコガネムシ」	平成 4年 3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申	平成11年 7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」 入館者190万人を突破
	10月	特別展「能面と装束」	4月	特別展「飛驒のあけぼの～交流する縄文・古代人～」	9月	特別展「恐竜時代」 特別展入館者4万人突破
昭和54年 4月	入館者40万人を突破		7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」	10月	特別展「水とまつり～古代人の祈り～」 特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」
	7月	特別展「濃飛の先史時代」	10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」	平成12年 7月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」
	10月	特別展「濃飛の文人」	11月	小中学生常設展入館料無料化	9月	特別展「すばらしき東濃の自然 再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」
	11月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設	平成 5年 3月	入館者150万人を突破	平成13年 7月	特別展「あのころいた鳥～そういえばトキもおったげな～」
昭和55年 4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」		4月	特別展「土と炎の芸術」	9月	特別展「七代目田十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」
	5月	入館者50万人を突破	9月	29日大型哺乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘	11月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」（マイミュージアムギャラリー） 全国ハイビジョン手づくりワトフェスタ2001グランプリ受賞
	7月	特別展「化石の世界」	10月	特別展「失われゆく植物」	平成14年 2月	NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成
	10月	特別展「蕨虫山人」	11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシミュレーションソフト完成		
昭和56年 4月	特別展「美濃の絵馬」		平成 6年 1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式		
	5月	入館者60万人を突破	3月	大型哺乳類足跡化石を展示		
	7月	特別展「御岳山は生きている」	4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」		
	10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」	8月	恐竜の歯等荘川村で発見		
昭和57年 4月	特別展「高賀山の信仰」 入館者70万人を突破		9月	特別展「美濃山地の自然」		
	7月	特別展「ふるさとの植物」	10月	入館者160万人を突破		
	10月	特別展「東洋の貨幣」	12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進）		
昭和58年 4月	特別展「岐阜県の考古遺物」 入館者80万人を突破		平成 7年 3月	マイ・ミュージアム棟工事完成		
	5月	入館者80万人を突破		ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編ソフト完成」		
	7月	特別展「長良川」	4月	特別展「岐阜の淡水魚」 花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示		
	10月	特別展「郷土の生んだ先覚者」				
昭和59年 4月	特別展「濃飛の戦国武将」					
	7月	特別展「ふるさとの昆虫」				
	8月	入館者90万人を突破				
	10月	学習ビデオ教材コーナー設置				
昭和60年 4月	特別展「濃飛の蘭学」					
	7月	特別展「濃飛の縄文時代」				
	10月	特別展「鉱物の世界」				
	12月	自然展示室2を改装				
昭和61年 4月	特別展「徳山の四季とくらし」					
	7月	特別展「奥飛驒の自然」				
	9月	人文展示室1を改装				
	10月	開館10周年記念式典挙行 開館10周年記念展「ふるさとの祭り」				

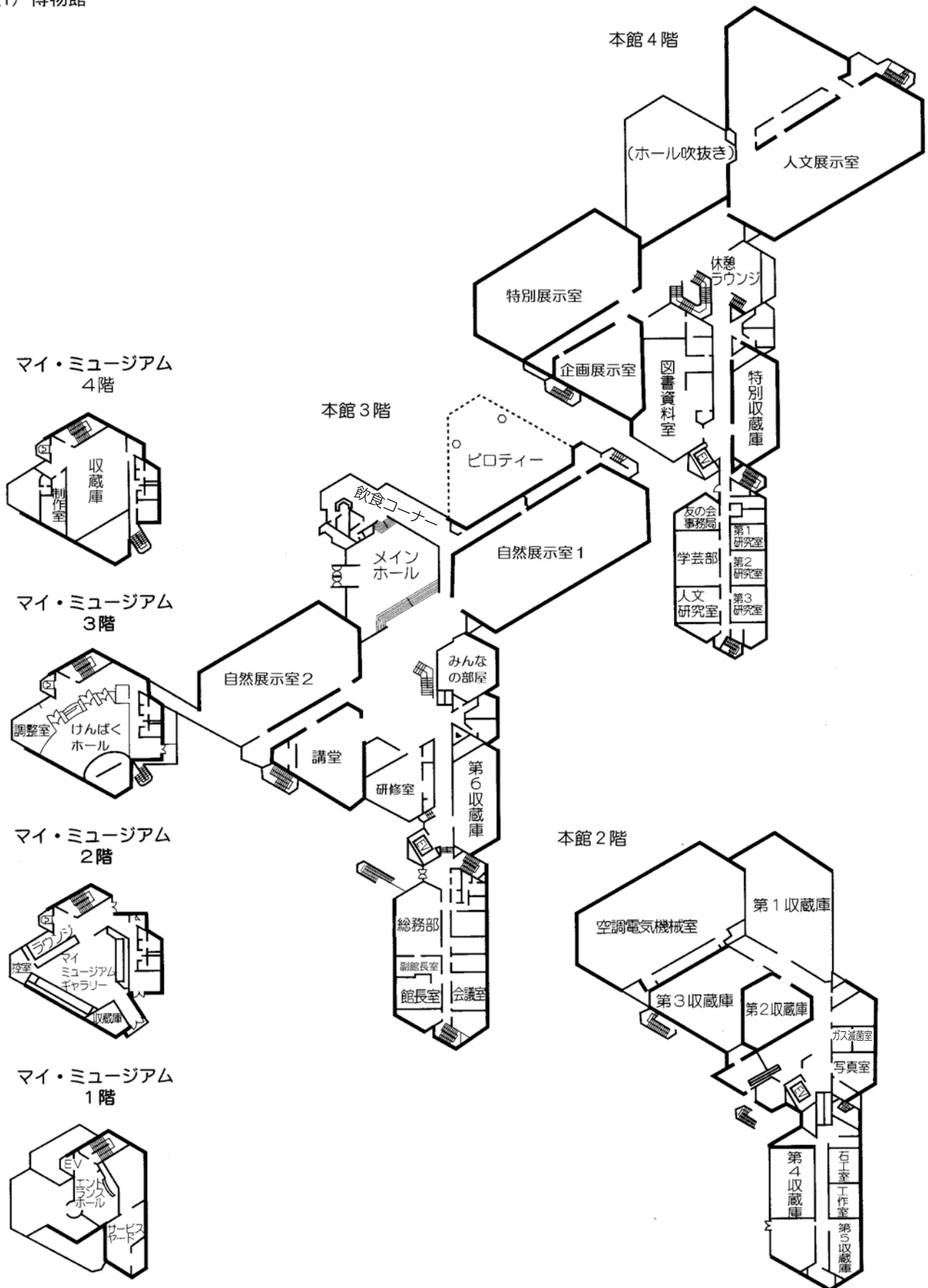
3月	バリアフリー対策事業小型モノレール(スロープカー)完成	11月	文化の日博物館無料開放開始	特別展「壬申の乱の時代ー美濃国・飛騨国の誕生に迫る」	
4月	特別展「温泉展〜湯の華からのメッセージ〜」	平成20年 5月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」3,800冊寄贈	10月	関市シティバス「百年公園前」バス停新設
5月	入館者210万人を突破	9月	特別展「骨のあるやつ」	12月	収藏品選集製作
平成15年 10月	特別展「中山道街道400年」	平成21年 9月	特別展「人、和して楽しむ〜岐阜の文楽〜」	平成30年 4月	特別企画展「兼定 刀都・関の名工」
7月	特別展「昭和くらしの歩み〜30年代を中心〜」	10月	入館者260万人を突破	5月	入館者300万人を突破
9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜〜発見！キノコと山菜、薬草の魅力〜」	平成22年 7月	特別展「川ーカワ・イイね！〜流れがつくり出す自然〜」	7月	特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて〜知れぬほど面白い標本の世界〜」
平成16年 10月	入館者220万人を突破	11月	入館者270万人を突破	9月	特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家一御乳・池田恒興・輝政の戦い〜」
7月	特別展「タイムトラベル石器時代〜大昔はどんなくらしをしていたの？〜」	平成24年 7月	特別展「ジオパディアぎぶ」	7月	特別展「剣精霊貫白虹ー幕末美濃の剣豪と名刀ー」
9月	特別展「里山ミュージアム〜ドングリころころオオタカびゅーん〜」	9月	特別展「飛騨・美濃の信仰と造形」	令和元年 7月	特別展「岐阜は日本のど真ん中ー岐阜県植物誌は語るー」
平成17年 4月	高校生以下入館料年間無料化(特別展入館料無料化)	平成25年 9月	特別展「弥生大集落ー荒尾南遺跡が語るモノと心ー」	9月	特別展「入館者310万人を突破」
5月	入館者230万人を突破	平成26年 2月	入館者280万人を突破	12月	入館者310万人を突破
7月	特別展「線路はつづくよ〜岐阜、鉄道のあゆみ〜」	7月	特別展「奇なるものへの挑戦、明治大正/異端の科学」	令和2年 4月	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4/4〜5/18を臨時休館
9月	特別展「『名水・温泉・名勝』展〜水と大地のハーモニー〜」	平成27年 4月	百年公園駐車場を無料化	9月	特別展「光秀が駆けぬけた戦国 国 岐阜」
平成18年 4月	開館30周年記念式典挙行	9月	特別展「天下人の時代ー信長・秀吉・家康と美濃〜」	12月	特別企画展「みんなの恐竜学」
開館30周年記念特別展「緑いきいき！岐阜の森」	平成28年 7月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展「新・恐竜学〜鳥になった恐竜の脳科学〜」	令和3年 7月	特別展「薩摩の陶と刀」	
5月	開館30周年記念植樹	8月	カリコテリウム類の化石(国内初発見)特別展示	8月	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、8/27〜9/30を臨時休館
モリゾー・キッコロ来館	9月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展「東海地方の円空仏」	令和4年 5月	特別企画展「今日から防災！」	
全国植樹祭中濃サテライト会場〜来館者全員招待入館〜	平成29年 4月	SNS開設	9月	入館者320万人を突破	
8月	入館者240万人を突破	7月	民間施設連携開始	9月	特別展「発見！いにしへの岐阜ー弥生・古墳・古代ー」
飛騨美濃合併 130周年記念行事博物館1日無料開放	9月	特別展「生きている大地〜地質図が語るぎぶの大地〜」	12月	特別展「パレオアート作品展ー二人のパレオアーティストー」	
9月	飛騨美濃合併130周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」	9月	中濃地域連携企画展	令和5年 7月	特別展「岐阜の祭り みんなのこころ粹」
11月	文化の日博物館無料開放	10月		9月	特別展「出かけよう！0→3,000mの旅ー植物が彩る物語ー」
平成19年 7月	特別展「恐竜と生命の大進化〜中国雲南5億年の旅〜」				
9月	特別展「発掘された日本列島2007〜新発見考古速報展〜」				
10月	入館者250万人を突破				

5 歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏名		在職期間(年度)	氏名
1	昭和51年	小幡忠良	16	平成17年	下畑五夫
2	昭和52年〜昭和54年	松尾克美	17	平成18年	古川和明
3	昭和55年〜昭和56年	大橋桃之輔	18	平成19年〜平成20年	高屋一行
4	昭和57年〜昭和58年	吉本幹彦	19	平成21年	浅野裕司
5	昭和59年	関谷美智男	20	平成22年	石田克
6	昭和60年〜昭和61年	廣田照夫	21	平成23年〜平成24年	河合正明
7	昭和62年〜昭和63年	森崎利光	22	平成25年〜平成26年	後藤弘之
8	平成元年〜平成2年	伊藤秀幸	23	平成27年	杉原茂男
9	平成3年〜平成4年	篠田幸男	24	平成28年	水谷淳子
10	平成5年〜平成6年	横山勢津男	25	平成29年	中島守
11	平成7年〜平成8年	清水廣美	26	平成30年〜令和元年	平井克昭
12	平成9年〜平成10年	高田晃	27	令和2年	川本敏
13	平成11年〜平成12年	遠藤祐神	28	令和3年	副島雅浩
14	平成13年〜平成14年	高橋宏之	29	令和4年〜令和5年	森島勝博
15	平成15年〜平成16年	武山栞司	30	令和6年	丹羽和也

6 施設・設備

(1) 博物館



主要室（名称及び面積）

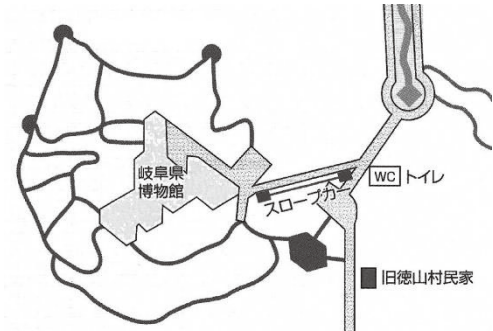
本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫 控室	202.3 25.3 18.5
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫 控室	202.3 25.3 18.5
	自然展示室2	478.8			
	みんなの部屋	95.4	3階	けんぱくホール 調整室	192.3 47.0
	講堂	174.5			
	研修室	93.2			
4階	第6収蔵庫	142.8	3階	けんぱくホール 調整室	192.3 47.0
	人文展示室	942.3			
	特別展示室	478.8	4階	収蔵庫等	281.3
	企画展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

(2) 館外施設

① 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が2か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。



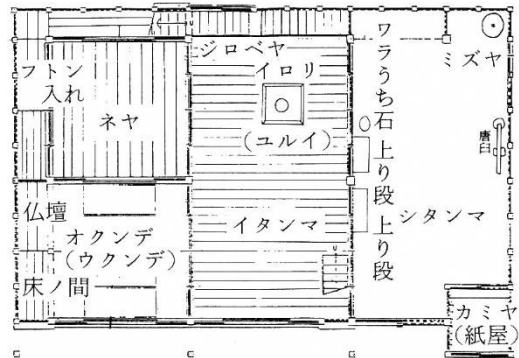
自然観察のこみち

② 旧徳山村民家

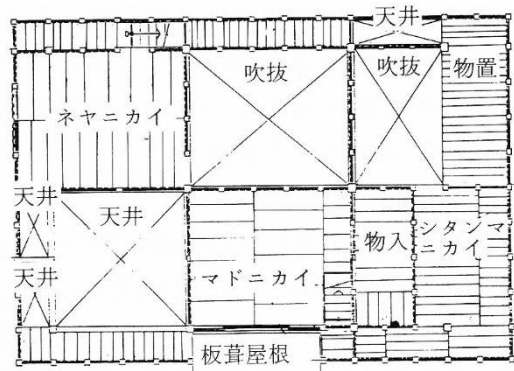
徳山ダム建設に伴い、徳山村は廃村となった（揖斐川町に合併）が、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料公開してきた。

平成30年11月、「旧宮川家住宅」として国登録有形文化財に登録された。令和元年度より保存活用事業を進め、令和6年4月より一般公開を再開した。

- ・様式：木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97㎡
- ・延面積：197.48㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治前期ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



1階間取り図



2階間取り図

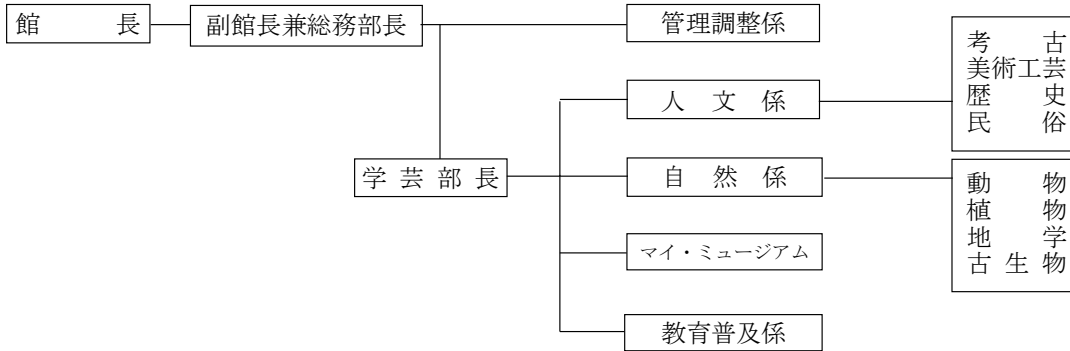


旧徳山村民家

Ⅱ 令和6年度の組織・体制

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	丹羽和也	【学芸部】			
副館長兼総務部長	河田哲也	学芸部長	山田昭彦	[マイ・ミュージアム係] 長	
【総務部】		[人文係]		主任	南本有紀
[管理調整係]		係長(考古)	近藤大典	学芸業務専門職	石井宏明
課長補佐兼係長	堀拓嗣	主査(民俗)	長野宜延	デジタル・アーカイブ業務専門職	高屋嘉文
主任	河手克巳	〃(美術工芸)	松井絵里子		東條佳緒里
主任	渡邊千尋	主事(歴史)	中川創喜	[教育普及係]	
主任	間宮千尋			課長補佐兼係長	則竹裕嗣
会計・人事労務業務専門職補助職員(事務補助)	小野真紀	[自然係]		課長補佐	星野友多
	梅村早夜花	係長(動物)	説田健一	学芸業務専門職	千藤克彦
		主査(地学)	武藤正樹	〃	武藤由子
		主任(植物)	松久聖子	管理業務専門職	坪井宏美
		〃(古生物)	高津翔平	〃	長田麻友子
				〃	福島江里菜
				〃	倉橋美紀子
				〃	鈴木奈おみ
				〃	宮崎亜優

(3) 異動(令和6年4月1日)

転出者 (退職者)	館長 課長補 主査 主任	長 佐查 查任	(森島勝博) 安江寿明 古田里香 浅野伸保 熊澤忍	転入者	館主 主任	長 任任	丹羽和也 河手克巳 渡邊千尋 石井宏明
--------------	-----------------------	---------------	---------------------------------------	-----	----------	---------	------------------------------

2 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容
常設展	年 間	人文展示室では「郷土のあゆみ」を主題とし、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示します。特別展示室または企画展示室では「郷土の民俗と美術工芸」を主題とし、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示します。自然展示室1では「郷土の自然とおいたち」を主題とし、郷土の自然の概要を系統的に展示します。自然展示室2では「郷土のさまざまな自然」を主題とし、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示します。
移動展 「UKIYO-E ー多岐多様ー」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	4/6 (土) ～ 6/9 (日)	江戸時代に庶民の娯楽や世相を紹介し人気を博した浮世絵は、開国によって国外にも流通しヨーロッパ画壇にも大きな影響を与えました。その芸術的価値は高く評価され、現在も日本を代表する文化の一つとして位置づけられています。 今回は岐阜県博物館の所蔵する作品のうち、浮世絵に描かれた多様な岐阜(飛騨・美濃)の魅力を紹介します。
企画展 「返還 30 年 美濃の赤羽刀総覧 ー美濃伝をたどるー」	4/20 (土) ～ 6/23 (日)	接収刀剣類、いわゆる「赤羽刀」返還からまもなく30年になることから、岐阜県内の赤羽刀を総覧する展覧会を開催します。赤羽刀とは、第二次世界大戦後、日本の武装解除の一環でGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)に接収された後、文化財として返却され、全国の公立博物館等に無償譲渡された日本刀です。 本展は、関市・岐阜県博物館の整備済み赤羽刀を主に、美濃鍛冶の始まりである西郡・赤坂鍛冶から最盛期の関鍛冶、さらに幕末の美濃刀まで、約70振りを展示します。また、関市において同じタイトルを冠した連携展覧会を同時開催し、岐阜県博物館を含む市内3会場で、併せて100振りを越える美濃ゆかりの赤羽刀が一望できます。
特別展 「ポケモン化石博物館」	7/19 (金) ～ 10/27 (日)	人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するふしぎな生き物「ポケモン」にはカセキから復元されるポケモン(以下「カセキポケモン」と呼ぶ)がいくつか知られています。この展示は、「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を見比べて、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学んでいただくものです。 ポケモンの世界の「カセキ博士」とお手伝いの「発掘ピカチュウ」、私たちの世界の博士たちの案内で展示をめぐり、それぞれの世界の「かせき」をじっくり見比べてみましょう。 © 2024 Pokémon. © 1995-2024 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
博物館・文化財保護センター連携企画展 「寺院跡からみた岐阜の歴史 ー古代・中世寺院跡総合調査の 成果よりー」	11/9 (土) ～ 1/13 (月・祝)	岐阜県下では令和4年度まで実施された岐阜県古代・中世寺院跡総合調査によって、1,918か寺の古代・中世寺院が確認されました。一方、各地で古代・中世寺院跡を対象とした発掘調査が実施されています。それらの調査によって、寺院跡からみた県内の古代・中世の様子が少しずつ明らかになってきました。 本連携企画展では、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査の成果報告と、県内の主な寺院跡の発掘調査の出土品を展示し紹介します。
博物館・図書館連携企画展 「美しい鉱物の世界」	1/5 (日) ～ 2/19 (水)	地球が誕生し46億年、この長い地球の営みで生み出された鉱物は大地の至る所に眠っています。これらの鉱物は資源として活用されるだけでなく、その美しさから装飾に使われ多くの鉱物が産出していました。 今回の展示では、当館がこれまで収集したものの中から、きれいな色や不思議な形の鉱物、地球をつくるもととなった隕石などを厳選し、展示します。
企画展 「雑草とよばないで」	3/18 (火) ～ 令和7年度 6/15 (日)	田や畑、道端、空き地などに繁茂し、厄介ものとして見向きもされない植物たち。雑草とよばれるのは、一般的にそのような植物です。しかしながら、個々の植物に注目すると、それぞれに名前があり、美しい花を咲かせ、巧みに生きています。雑草が茂った場所は、見方を変えれば、それぞれの季節に、その場所特有の野生植物が咲き乱れるお花畑です。そんな場所に虫たちは集まり、生きもの同士が関係し合う、自然の営みが成り立っています。 本企画展では、雑草とよばれる植物を通して、植物の生き方や、生きもの同士のつながり、人間生活との関わりを紹介します。本企画展が、身近な自然に目を向けるきっかけとなれば幸いです。

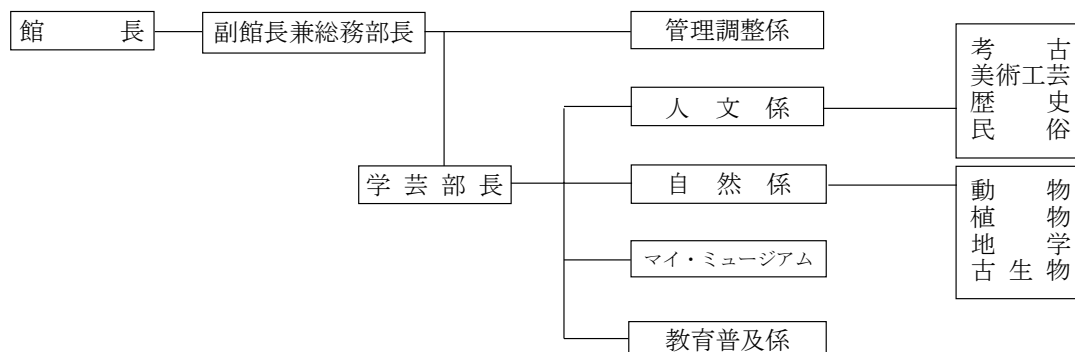
※1/14(火)～3/17(月)は、施設設備改修に伴う臨時休館(学校団体の受入れや、出張授業及びリモート授業は実施)

展 示 名	期 間	出 展 者 に よ る 展 示 内 容 紹 介
マイミュージアムギャラリー 第1回展示 「ボタニカルアート手法による 花と生き物の共演」	4/6 (土) ～ 5/12 (日)	ボタニカルアートは、植物を精密に描いた絵の事を言います。 背景や人工物を描かずに、実物大で特徴を正確に描くという4つのルールに基づき、植物を精密に描きます。 今回は、植物だけでなく生き物もボタニカルアートの手法で描いた作品も展示します。日ごろ見慣れたものでも絵画を通じて、身近な自然を観察することで、新しい発見があるかもしれません。
マイミュージアムギャラリー 第2回展示 「龍神降臨」	5/25 (土) ～ 6/30 (日)	十二年に一度の辰年に因んで、龍に焦点を当てた展示を企画しました。我が国は瑞穂の国とも称され、弥生期以降農業を基幹産業として栄えてきました。農業にとって不可欠な資源は水であり、その水を司る龍神の神格とその働きに焦点を当て、農業だけでなく全ての命にとって欠かせない水の重要性をお伝えする機会となれば幸いです。さまざまな龍神の姿や、我々の日常生活にも影響する御利益についてもご紹介いたします。 又、千二百年の昔から全国に知られた夜叉ヶ池伝説の宗家・石原傳兵衛家に伝わる貴重な絵図類も併せてご覧いただけます。
マイミュージアムギャラリー 第3回展示 「マンガコレクション ほぼ半世紀展」	8/31 (土) ～ 9/29 (日)	子供の頃から読んでいたマンガを捨てないでいたらコレクターになっていました。約50年の集大成です。 今では見なくなったコミックスやサイン本、サイン会や懸賞で当選したサイン色紙、原画原稿、サイン入複製原画をコレクションの中から厳選して展示します。デジタル化によって消えゆく原画原稿、セル画、電子書籍化で無くなりつつある紙本、マンガ文化を後世に残すことがコレクターの使命だと思っています。
マイミュージアムギャラリー 第4回展示 「岐阜提灯 絵付け展」	10/12 (土) ～ 11/17 (日)	岐阜の自然が育んだ伝統工芸品岐阜提灯。江戸時代後期より受け継がれてきました。和紙や絹、竹ひごから溢れる優しい灯り。絵付けという仕事に携わって30余年。淡々と下描きなしで筆を運んでゆく。四季の花々が透ける火袋に咲き誇る。あなたが大切な方を偲ぶときそっと寄り添う癒しの灯でありますように。 和紙や絹で張った提灯に、日本画の手法で四季の草花を描き、床に置く伝統的な「大内行灯」や、天井から吊り下げる大型の「堂島提灯」を展示します。
マイミュージアムギャラリー 第5回展示 こぎれ 「古裂いろいろ —「集める」と「楽しむ」—」	11/30 (土) ～ 1/13 (月・祝)	「ジャパンプルー」に魅せられて旅をしました。地域によって布に個性があり歴史があり夢中になりました。すでに多くはパッチワークやインテリア、衣服へのリフォームと人気がありましたが、中型染は数が少なく、また柄の多様さと細かさに驚きました。更には布の歴史やプロセスに興味が出ました。栽培、梁色、糸つむぎや織りの一部を体験し、気の遠くなる作業とあたりまえに、更に工夫を凝らした古の人々に敬服しました。 縞、格子、緋、型染め、更紗などの布を集め、裂帳に仕立てて見やすくしました。メインの中型染半襦袢は50枚程です。形として手に入れた物は、愛おしく鉄が入りませんので布切れをパッチワークにしたり、細く裂いて織物として服や帯にしたり、古紙はコヨリにして糸にして織ってみました。墨の跡が面白い模様になり、木綿のあるところは縮緬もあり沢山集まり、色々な細工物になりました。 「集める」と「楽しむ」をテーマに様々な古裂を展示します。

Ⅲ 令和5年度のあゆみ

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	森島勝博	【学芸部】			
副館長兼総務部長	河田哲也	学芸部長	山田昭彦	[マイ・ミュージアム係] 長	
【総務部】		[人文係]		主査	南本有紀
[管理調整係]		係長(考古)	近藤大典	学芸業務専門職	浅野伸保
課長補佐兼係長	堀拓嗣	主査(民俗)	長野宜延	デジタル・アーカイブ業務専門職	高屋嘉文
課長補佐	安江寿明	主事(歴史)	松井絵里子		東條佳緒里
主査	古田里香		中川創喜	[教育普及係]	
主事	間宮千尋	[自然係]		課長補佐兼係長	則竹裕嗣
会計・人事労務業務専門職補助職員(事務補助)	小野真紀	係長(動物)	説田健一	主査	星野友多
	梅村早夜花	主査(植物)	武藤正樹	学芸業務専門職	千藤克彦
		主任(植物)	松久聖子	"	武藤由子
		"(地学)	熊澤忍	管理業務専門職	坪井宏美
		"(古生物)	高津翔平	"	長田麻友子
				"	福島江里菜
				"	倉橋美紀子
				"	鈴木奈おみ
				"	宮崎亜優

(3) 異動 (令和5年4月1日)

転出者(退職者)	副館長兼総務部長 課長補佐	(寺嶋祐三) (林英和)	転入者	副館長兼総務部長 課長補佐	河田哲也
	主任	土屋寿美		主査	安江寿明
	主事	安藤均		主事	武藤正樹
	学芸業務専門職	松島史弥		"	間宮千尋
	管理業務専門職	橋本清章		学芸業務専門職	中川創喜
	補助職員	加藤章		管理業務専門職	千藤克彦
	補助職員	益田子美		デジタル・アーカイブ業務専門職	宮崎亜優
		沢智美		補助職員	東條佳緒里
			(令和5年10月1日)	主任	梅村早夜花
			転入者		松久聖子

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏名	現職名
有賀 信彦	中日新聞岐阜支社長
小野寺 茂樹	日本放送協会岐阜放送局長
春日井 恵子	岐阜市立鏡島小学校長
亀谷 みゆき	朝日大学経営学部・英語教育センター教授
河井 洋子	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属 桐が丘幼稚園長
幸脇 晴美	公募委員
清水 啓子	岐阜県博物館サポーター
杉山 博文	岐阜女子大学理事長
須山 知香	岐阜大学教育学部准教授
高木 俊徳	岐阜新聞社取締役読者事業局長
藤田 直也	岐阜県PTA連合会 委嘱書記
◎古川 秀昭	前岐阜県美術館長

◎会長 (令和6年3月1日現在 五十音順・敬称略)
任期は令和4年9月24日から令和6年9月23日

(開催状況)

月日 令和5年11月30日(木)

場所 岐阜県博物館 講堂

○次第

(1)岐阜県博物館の現状と実績について

(2)議題:学校団体と岐阜県博物館

(3)その他(報告事項):令和6年度の特展・企画展計画について

○主な提案・意見

・昨年度の協議会での提言内容が今年度事業に反映されており、評価できる。

・情報発信の方法やアプローチを工夫することで、博物館の魅力度を向上させるようにしてほしい。

・博物館利用の促進に向け、今後サポーターの更なる活用や教員からの意見聴取に努めてほしい。

・生活に結び付く様々な取り組みを実践していることは、博物館の強みであり今後も継続すべきである。

3 日誌抄

- | | | | |
|------|---|------|---|
| 4. 4 | 人事異動に伴う辞令交付 | 30 | 出前授業「高山市立江名子小学校 化石レプリカづくり」 |
| 8 | MMG展示「野原櫻州の世界」(~5/14) | 7. 2 | けんぱく教室「ハンドメイドゲームで楽しもう」 |
| 8 | 出張けんぱく教室「マーゴ きらきらジオードわりにちようせん！」 | 2 | 出張けんぱく教室「アクア・トトぎふ 化石レプリカづくり」 |
| 15 | 企画展「錦絵からみた武士の世界」(~6/11) | 7 | 特別展「岐阜の祭り みんなのこころ(こころ)」(~9/3) |
| 15 | 出張けんぱく教室「カラフルタウン はっぱでしおり！葉脈標本づくり」 | 15 | 移動展「絶滅から救え！ぎふの鳥ライチョウ」(~10/1) |
| 16 | けんぱく教室「春みつけ 春の植物をみつけよう」 | 15 | 出張けんぱく教室「アクティブG きらきらジオードわりにちようせん！」 |
| 19 | 恐竜VR体験常設展示 | 16 | けんぱく教室「茅の葺き替え作業見学会」 |
| 22 | 博物館・図書館連携企画展「岐阜の城館探訪Ⅱ—最近の調査成果からみた岐阜の戦国—」(~6/18) | 17 | 学芸講座「「緩やかな保存」の提案 地域民具資料のこれからを考える」 |
| 29 | 出張けんぱく教室「マーサ21 かせきはっけん！ノジュールわり体験」 | 22 | MMG展示「あの頃夢中になったヒーローヒロイン」(~9/3) |
| 29 | ミニ企画コーナー「新時代を駆け抜けた植物学者—牧野富太郎、三好学、飯沼慾斎—」(~9/30) | 25 | 教員のための博物館の日(~7/28) |
| 5. 3 | けんぱく教室「恐竜を造ろう」 | 30 | 特別展開連講演会「古川祭の起し太鼓と屋台行事」 |
| 3 | けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」 | 8. 1 | 学芸員なう「クワガタムシのなかま」(~10/4) |
| 4 | 出張けんぱく教室「モレラ岐阜 はっぱでしおり！葉脈標本づくり」 | 5 | 特別展開連事業「「指南車」がやってくる」 |
| 12 | 岐阜県副知事視察 | 5 | 出張けんぱく教室「イオンモール各務原 化石レプリカづくり」 |
| 12 | 学芸員なう「高山市でライチョウ展」(~7/30) | 6 | 出張けんぱく教室「イオンモール各務原 かせきはっけん！ノジュールわり体験」 |
| 13 | 学芸講座「描かれた日本の武将たち 錦絵「武者絵」の魅力」 | 10 | 出前講座「藍見公民館 化石レプリカづくり 葉脈標本でしおりづくり」 |
| 13 | 岐阜県文化財保護センター連携展示コーナー「中村遺跡」(~8/17) | 12 | 小屋名精霊送り「チンチカカ」小屋名地区住民限定「博物館ご招待」(~8/13) |
| 13 | スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり | 13 | けんぱく教室「三葉虫を取り出そう」 |
| 14 | スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり | 15 | 台風接近による臨時休館 |
| 27 | MMG展示「あそび—楽しいひとときをデザインする—」(~7/2) | 16 | 大雨洪水警報発令による臨時休館 |
| 28 | けんぱく教室「なりきり武士体験 日本刀でポーズ」 | 17 | 大雨警報発令による臨時休館 |
| 6. 3 | けんぱく教室「収蔵庫探検 自然史標本の役割を知る」 | 18 | 岐阜県文化財保護センター連携展示コーナー「御嵩町金ヶ崎遺跡」(~12/3) |
| 11 | 学芸講座「熱田神宮とその宝刀」 | 18 | 出前講座「大矢田公民館 勾玉づくり」 |
| 25 | 学芸講座「小さな化石の大きな発見 篠山層群の爬虫両生類化石」 | 20 | けんぱく教室「アンモナイトの苔テラリウムを造ろう」 |
| 25 | 出張けんぱく教室「アクア・トトぎふ 化石レプリカづくり」 | 23 | 博物館実習(~8/27) |
| 29 | 出前授業「岐阜市立長良小学校 化石レプリカづくり」 | 27 | 学芸講座「岐阜県民は県の鳥「ライチョウ」が嫌いなのか？」 |
| | | 9. 1 | MM棟ラウンジ展示「県建設研究センター 自然共生工法写真コンテスト」(~9/15) |

- 15 特別展「出かけよう！0→3,000mの旅—植物が彩る物語—」(～12/3)
- 17 けんぱく教室「身近な植物で草木染めをやってみよう」
- 18 けんぱく教室「徳川家康の古文書を読む」
- 23 MMG展示「島田翠鳳の花鳥画展」(～10/29)
- 23 けんぱく教室「ボタニカルアート ミニ植物標本をつくろう」
10. 1 けんぱく教室「ゼロからはじまる植物標本 1/2」
 - 1 ミニ企画展「〇〇の秋！！文化(音楽、映像)版」(～12/12)
 - 2 岐阜県博物館Instagram(インスタグラム)アカウント開設
 - 3 関市連携展示 臨川寺木造釈迦如来坐像展示(～10/31)
 - 5 学芸員なう「へんな！？石たち」(～1/31)
 - 5 ミニ企画コーナー「手取層群の白亜紀植物化石」(～12/12)
 - 8 特別展関連講演会「牧野富太郎の生涯 草木とともに」
 - 9 けんぱく教室「ボタニカルアート ミニ植物標本をつくろう」
- 14 岐阜県歴史資料館・博物館連携企画「美濃 徳川領国への道」(～11/26)
- 14 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり
- 15 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり
- 15 けんぱく教室「秋みつけ 秋の植物やきのこをみつけよう」
- 22 学芸講座「関市の文化財」
- 22 けんぱく教室「ゼロからはじまる植物標本 2/2」
- 23 博物館・岐阜大学・名古屋大学博物館連携企画展「おもしろい骨のはなし—しらべる・つくる・のこす—」(～12/6)
11. 3 岐阜～ふるさとを学ぶ日(無料開放日)
 - 5 特別展関連講演会「きのこの不思議」
 - 11 MMG展示「一針一針願いを込めて 百徳きもの展」(～1/8)
 - 11 けんぱく教室「平岩新吉の古文書を読む」
 - 18 けんぱく教室「身近な植物を束ねてスワッグをつくろう」
 - 18 出張けんぱく教室「ぎふサイエンスフェスティバル2023 化石レプリカづくり」
 - 18 第4回 kid's考古学新聞コンクール 入賞作品展示(～12/17)
 - 19 学芸講座「中世の木曾川と美濃路」
 - 23 特別展「出かけよう！0→3,000mの旅—植物が彩る物語—」 来場者1万人達成
 - 23 けんぱく教室「恐竜を造ろう」
 - 23 けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」
 - 26 けんぱく教室「ボタニカルアート ミニ植物標本をつくろう」
12. 2 クリスマスナイトミュージアム
 - 5 岐阜県文化財保護センター連携展示コーナー「大平遺跡」
 - 11 特別展示室展示ケースLED照明工事(～12/14)
 - 12 出前授業「下呂市馬瀬小学校 化石レプリカづくり 化石とり出し体験」
 - 13 ミニ企画展「寒い冬には明かりをともそう」:燭台、行灯、ガスランプ、ランタン」(～4月中旬予定)
 - 13 ミニ企画コーナー「ゆかいな冬芽たち」(～3/12)
 - 16 学芸講座「意外と知らない、カモノハシの不思議 化石から外交まで」
 - 18 恐竜のすず払い
 - 23 けんぱく教室「収蔵庫探検 自然史標本の役割を知る」
 - 26 マーゴサテライト展示「ティラノサウルス類の系譜」(～1/23)
1. 7 博物館友の会企画「正月遊び」
 - 7 けんぱく教室「七草がゆを食べよう」※中止
 - 14 学芸講座「加藤貞泰と家臣団～美濃から伊予大洲へ～」
 - 16 出前講座「各務原西ライフデザインセンター 化石レプリカづくり」
 - 20 企画展「美しき鉱物の世界」(～3/17)
 - 20 MMG展示「廃材がartに変わる 竹・木材のart ダンボール工作」(～3/10)
 - 21 三重県総合博物館交流企画「日本のタナゴ亜科魚類の生態と進化」
 - 24 マーゴサテライト展示「美しき鉱物の世界」(～1/30)
2. 1 学芸員なう「スマレ」(～4月上旬)
 - 1 出前授業「土岐市肥田中学校 化石レプリカづくり」
 - 3 けんぱく・関市連携企画展「未来へ伝統をつなぐ 一関市の文化財」(～3/24)
 - 3 けんぱく教室「手羽先で骨格標本づくり」
 - 17 けんぱく教室「恐竜に色をぬろう」
 - 18 学芸講座「日本の宝石鉱物 岐阜は宝石鉱物の宝庫」
 - 20 出前授業「美濃加茂市立西中学校 化石とり出し体験」
 - 21 出前授業「美濃加茂市立西中学校 化石レプリカづくり」
 - 22 モレラ岐阜サテライト展示「美しき鉱物の世界」(～3/14)
 - 23 JAFデーin岐阜県博物館「美しき鉱物の世界&化石体験教室」
3. 2 けんぱく教室「ジオード割り体験」
 - 11 MMギャラリー展示ケースLED照明器具取替工事(～3/25)
 - 13 企画展「美しき鉱物の世界」来場者1万人達成
 - 13 ミニ展示「新収蔵資料紹介」(～5月上旬)
 - 20 出張けんぱく教室「たじみこどもフェスタ 化石レプリカづくり」

4 実施事業の概要

「県民の皆様が岐阜県の実験や歴史・文化に親しみ、誇りをもつことができる博物館」を運営目標として、特別展、企画展、移動展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。特別展のテーマに関わるその道の研究者による講演会など各種講演会・講座、参加体験型の催し物、学芸員による出前授業や講師派遣など多くの事業を展開した。特に、特別展「岐阜の祭り」・「出かけよう！0→3,000mの旅」を行い、多くの方々に来館いただけた。

(1) 展示活動

特別展などの展示活動をP12の表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、令和5・6年度の特別展・企画展などに関連した県内外資料の調査を行った。自然分野では、県内外資料の調査に加え、百年公園の里山の動植物生態調査(モニタリング1000)、県内植物分布調査、令和5・6年度の特別展に向けた県内外の資料調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、県内各地で資料の所在調査を実施するとともに、歴史、美術工芸資料を資料として加えた。自然分野では、県内外の動植物や古生物、岩石鉱物資料を資料として加えた。

(4) 教育普及活動

平成28年度から続いている「教員のための博物館の日」は、本年度は7月25日(火)～7月28日(金)に4日間実施した。わくわく体験はこれまで新型コロナウイルスの感染状況に応じて定員数を調整していたが、30分8グループに戻し、多くの方に体験していただいた。

団体等の利用では、来館する学校団体が少しずつ増え、生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。また、リモート授業では「恐竜の話」、「大昔の人々の暮らし」を中心に行ったが、今年度は新たに「輪中の話」をコンテンツとして増やし、博物館の学習プログラムの幅を広げた。

博物館サポーターの活動では、99名が登録し、活動内容にあわせて11の活動グループを設け、希望するグループに所属して活動を行った。人文催事グループは令和6年度に公開する登録有形文化財旧宮川家住宅主屋一般公開に向け、準備作業を実施した。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文展示室では、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示した。特別展示室または企画展示室においては、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示した。自然展示室1では、郷土の自然の概要を系統的に展示した。自然展示室2では、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示した。	—
企画展 「岐阜県博物館コレクション 錦絵からみた武士の世界」	4/15 (土) ～ 6/11 (日)	錦絵とは、江戸時代中期から明治時代に流行した多色刷りの浮世絵木版画のことである。錦絵にはその当時の流行や世の中のあり様が描かれ、時には幕府への不満が風刺として表現されていた。岐阜県博物館では、1998年より錦絵の収集をはじめ今年で25年目を迎える。今回は、数多く収集された錦絵のうち、歴史や伝説で勇ましい活躍をする侍・武士に焦点を当てて紹介した。	6,839
博物館・図書館連携企画展 「岐阜の城館探訪Ⅱ —最近の調査結果からみた 岐阜の戦国—」 (会場：岐阜県図書館)	4/22 (土) ～ 6/18 (日)	岐阜県下では、800ヶ所以上の中世城館・近世城郭遺跡が知られ、地域の歴史をあらわす遺跡として大切に保護されている。また、さらなる地域の歴史解明や地域のシンボルとして保存し活用することを目指し、現在も各地で調査研究が盛んにおこなわれている。今回は、特に国指定史跡を目指して調査研究が進められている城館跡を紹介し、戦国の岐阜の歴史解明の現在を知る機会とした。	5,173
特別展 「岐阜の祭り みんなのこころ粹」	7/7 (金) ～ 9/3 (日)	日本には、多種多様な神社祭礼がある。ここ岐阜県も同様で、豊かな自然環境のもと、地域の生活や文化と深くかかわってきた「祭り」をとりあげた展示を開催。美濃、飛騨問わず、岐阜県内の様々な地域における「祭り」を知ることで自分の住む地域以外の「祭り」や神事への興味関心をよりもっていただき、古くから伝承されている「祭り」への今後の参加、祭りを伝承しようとする思いを高めていただいた。	7,364
移動展 「絶滅から救え！ ぎふの鳥ライチョウ」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	7/15 (土) ～ 10/1 (日)	ライチョウは岐阜県の豊かな自然を象徴する鳥で、御嶽、乗鞍山及び飛騨山脈などに生息している。現在、ライチョウは絶滅の危機にあり、さまざまな方法で保全活動が行われている。そのなかで、乗鞍岳に生息するライチョウが中央アルプスの個体群の復活に貢献するなど、重要な役割を果たしている。今回の展示では、岐阜県博物館が所蔵するライチョウに関わる資料を展示することで、岐阜県の豊かな自然の姿を紹介するとともに、ライチョウの保護活動への関心を高める機会とした。	46,378
特別展 「出かけよう！0→3,000mの旅 —植物が彩る物語—」	9/15 (金) ～ 12/3 (日)	岐阜県には、河口部の海拔0m地帯から、標高の高い山まであり、実にその標高差が3,000mを越えている。この標高差は全国でも珍しく、そこに住まう生物も多種多様である。このように標高差が大きい岐阜県では、海に接していなくとも動植物の種類が多く、他では見ることのできない貴重なものも見るができる。本特別展では、岐阜海拔0mから標高3,000mまでの旅路を辿り、植物を中心とした岐阜の豊かな自然が彩る物語について紹介した。	11,554
博物館・岐阜大学・名古屋大学博物館 連携企画展 「おもしろい骨のはなし —しらべる・つくる・のこす—」 (会場：岐阜大学図書館)	10/23 (月) ～ 12/6 (水)	現在、私たちヒトと同じ脊椎動物は約7万種が知られている。最初の脊椎動物は海で生まれ、顎を持たない魚のような形をした生物だった。その後、脊椎動物は、顎を獲得し、効率よく餌を取ることができるようになり、さらには四肢の進化にもない、陸上や空中へ進出した。今回の企画展では博物館や大学での骨に関わる研究や資料収集活動を紹介しながら、さまざまな動物の骨の標本を展示することで、動物の骨の形の不思議さや美しさを楽しみ、多様な生物の世界への関心を高める機会とした。	13,970
企画展 「美しき鉱物の世界」	1/20 (土) ～ 3/17 (日)	地球が誕生し46億年、大地には長い地球の営みで生み出された鉱物資源が至る所に眠っている。これらの鉱物資源は経済の発展に大きく貢献し、時には人の目を楽ませた。本企画展では地下に眠る貴重で魅力的な鉱物資源と、地球をつくるもととなった隕石を紹介した。鉱物(岩石)には色彩が豊かなものや、結晶構造が綺麗なもの、鉱石(金属を得るために使われる鉱物・岩石)として使われているものなどがあり、展示を通して、地球を作る鉱物や、普段から身の回りで使われている金属がどのようなものから作られているかを知り、鉱物(岩石)への関心を高める機会とした。	11,977
マイミュージアムギャラリー	(P22 参照)	「野原櫻州の世界」をはじめ、6回の展示を実施した。	—

企画展 「岐阜県博物館コレクション 錦絵からみた武士の世界」

1 開催期間

令和5年4月15日(土)～6月11日(日)

前期：令和5年4月15日(土)～5月14日(日)

後期：令和5年5月16日(火)～6月11日(日)

2 主催

主催：岐阜県博物館

3 趣旨

錦絵とは、江戸時代中期から明治時代に流行した多色摺の浮世絵木版画である。錦絵は幕府からの弾圧の対象になる時期もあったが、絵師たちによる様々な工夫の末、多くの作品が世に広まり、1854年の開国以降は海外への流出を契機にヨーロッパ画壇においても影響を与え、現在も「ジャポニスム」として評価を得る。

岐阜県博物館では、1998年より錦絵の収集をはじめて25年目を迎える。今回は当館が所蔵する錦絵のうち、歴史や伝説で勇ましい活躍をする侍・武士に焦点をあてた武者絵を紹介した。

4 展示構成

岐阜県博物館で収蔵している錦絵全248点のうち、前期19点、後期19点、計38点を紹介した。

(1) 侍から群雄割拠の時代へ

平安時代から戦国時代に活躍した武士が描かれた錦絵を紹介した。

主な展示作品：

歌川国芳『源三位頼政鶴退治』

歌川芳艶『牛若丸青墓の宿にて強賊張範を討つ』

小林清親『宇治川 佐々木高綱 梶原景季 水馬図』

歌川芳員『京都四條繩手合戦』

(2) 天下統一への道 信長

織田信長と彼らにかかわる武士が描かれた錦絵を紹介した。

主な展示作品：

歌川国芳『稲葉山山中において荒猪を生捕たる強勇を大将の目にとまり臣下とす』

歌川芳藤『楠正成知早城普請之図』

歌川芳虎『太平記英雄鑑』

歌川豊宣『新撰太閤記 本能寺の変』

(3) 天下統一への道 光秀・秀吉

明智光秀・羽柴秀吉と彼らにかかわる武士が描かれた錦絵を紹介した。

主な展示作品：

月岡芳年『太功記之内高松水攻』

歌川国綱『佐藤正清軍配置之図』

月岡芳年『豊臣昇進録 大徳寺焼香』

歌川芳虎『小間喜山合戦』

(4) 新規収蔵品の紹介

令和3年度・4年度に新規に収蔵した錦絵を紹介した。

主な展示作品：

月岡芳年『徳川累代像頭』

歌川国芳『楠正成之臣辻風板待細川員氏生捕図』

歌川芳富『盆應寺夜討図』

月岡芳年『武者美談八景 広徳寺の晩鐘』



展示の様子(1)



展示の様子(2)

5 関連事業

(1) 学芸講座

「描かれた日本の武将たち—錦絵「武者絵」の魅力—」

講師：菅原真弓（大阪公立大学大学院 教授）

日時 5月13日(土) (13:30～15:00)

会場 けんぱくホール

特別展 岐阜の祭り みんなのころろ粹

1 開催期間、会場

期間：令和5年7月7日（金）～9月3日（日）

2 主催、後援、協力

主催：岐阜県博物館、中日新聞社

後援：NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会

3 趣旨

日本には、多種多様の神社祭礼がある。ここ岐阜県も同様である。豊かな自然環境のもと、地域の生活や文化と深くかかわってきた「祭り」をとりあげた展示を開催した。

県内の著名な祭りや神事を取り上げ、それぞれの概要、祭りに込められた願いをパネルで示したり、使用される山車の模型や祭具・衣装を紹介した。

それぞれの祭りの意義や目的、神事にかける願いなどを知ってもらい、改めて「祭り」への意識を高めたいという願いを込めた。ユネスコ無形文化遺産に登録された屋台行事のある高山祭、古川まつり、大垣まつりをはじめ、県内におけるいくつかの「祭り」を取り上げることで、来館者にとって、自分の地域以外の祭りや神事への興味関心を喚起し、古くから伝承されている祭りへの参加、祭りを伝承しようとする気持ちを高めるための展覧会として企画した。

4 展示構成

(1) 【祭りとは】

祭りの目的、行う意味

- ・神社と祭りの関係、神輿と山車、軸の違い
- ・岐阜県では、どれくらいの祭りがあるのか
- ・神輿の概要とその意味、神輿の練り歩きの意味
神輿の展示（高山祭、揖斐まつり）
- ・さまざまな神社の種類
神宮、大社、稲荷^{いなり}神社、八幡神社
- ・各種神社、まつりのパンフレット

(2) 【岐阜県における世界文化遺産となった祭り】

・山車の模型

大垣祭山車3台（神楽、恵比須、大黒山車）

「月岡画帳」「大垣祭絵巻」「大黒天人形頭」

高山祭屋台

恵比須臺^{だい}（の一部） 親子龍彫刻、手長足長彫刻実物

山王祭礼行列絵巻、五台山御所車（車輪）

古川祭 屋台の見送り、付け太鼓（複製）、

起し太鼓関連展示（模型、屋台のミニチュア）

(3) 【岐阜県における様々な祭り】

竹鼻祭 いひ祭り 八百津だんじり祭り

垂井曳軸祭り 竹鼻祭 八百津町久田見祭り

美濃まつり 大矢田ひんここ祭

関まつり

(4) 【岐阜県に見られる様々な獅子頭】

・獅子舞の目的

・それぞれの地域ごとに見られる獅子頭、獅子舞の衣装

岐南町の伏屋獅子 古川祭の獅子頭（宮本組、神楽台

組）獅子頭（美濃市 大矢田神社） 可児市 木造獅

子頭（塩河地区） 養老町（栗笠の獅子舞） 郡上市

（岸^{きしつるぎ} 劔神社の大神楽）

(5) 【祭りで使われる道具の体験コーナー】

古川祭からくり人形、鬮鶏楽太鼓



展示室の様子

5 関連事業

(1) 講演会「古川祭の起し太鼓・屋台行事」

講師：本永義博氏（飛騨市教育委員会）

日時 7月30日（日）（13：30～15：00）

(2) 「指南車」がやってくる

講師 山崎 昌彦氏（活エネルギーアカデミー理事長）

日時 8月5日（土）（9：30～16：00）



展示された指南車

特別展 「出かけよう！0→3,000mの旅—植物が彩る物語—」

1 開催期間、会場

期間：令和5年9月15日（金）～12月3日（日）

会場：岐阜県博物館 4階 特別展示室

2 主催、後援

主催：岐阜県博物館 岐阜新聞社、岐阜放送

後援：NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会

3 趣旨

岐阜県には、河口部の海拔0m地帯から、標高の高い山まであり、実にその標高差が3,000mを越える。この標高差により地域によって気候が異なり、そこに住まう生物も多様である。生育している植物の種に視点をかえてみると、この海拔0m地帯から3,000m級の山々への旅を植生に置き換えることができ、水平距離にして約3,000km北方へ移動する旅と同じことになる。このように標高差が大きい岐阜県では、海に接していても動植物の種類も驚くほど多く、自然豊かな県である。

今回の特別展では、これまでの調査結果や当館が所有する標本やレプリカはもちろん、全国各地から集めた資料、岐阜県で撮影された植物写真をもとに、海拔0mから標高3,000mまでの旅路を辿りながら、植物を中心とした岐阜県の豊かな自然について紹介した。

4 展示構成

序章 岐阜と植物（自然の宝庫）

(1) 岐阜固有・準固有の植物

(2) 岐阜はスマレ王国

1章 環境と植物（低地）

(1) 岐阜県の気候帯分布

2章 くらしと植物（低地～山地）

(1) 海拔0mに広がる植物の世界

(2) 里山 ～人と自然の関わり～

(3) 食卓に並ぶ山菜の話

(4) 母なる森「ブナ林」

(5) 妖精が舞う「湿原」

3章 高山と植物（亜高山～高山）

(1) 針葉樹林に広がる世界

(2) 高山の生き物（動物編、植物編）

終章 探究者と植物（岐阜にゆかりのある植物学者たち）

(1) 飯沼慾齋がつないだ日本の植物研究

(2) 三好学と天然記念物

5 関連事業

(1) 講演会

①牧野富太郎の生涯-草木とともに

講師：田中 純子（練馬区牧野記念庭園 学芸員）

日程：10月8日（日）13：30～15：00

②きのこの不思議

講師：吹春 俊光（千葉県立中央博物館 主席学芸員）

日程：11月5日（日）13：30～15：00

(2) けんぱく教室

①ボタニカルアート — 植物のミニ標本をつくろう —

日程：9月23日（土）、10月9日（月・祝）、11月26日（日）

会場：岐阜県博物館 本館3階 講堂

(3) 学芸員講座

①ゼロからはじまる植物標本づくり

日程：10月1日（日）、10月22日（日）の2日間

会場：百年公園、岐阜県博物館 本館3階 講堂

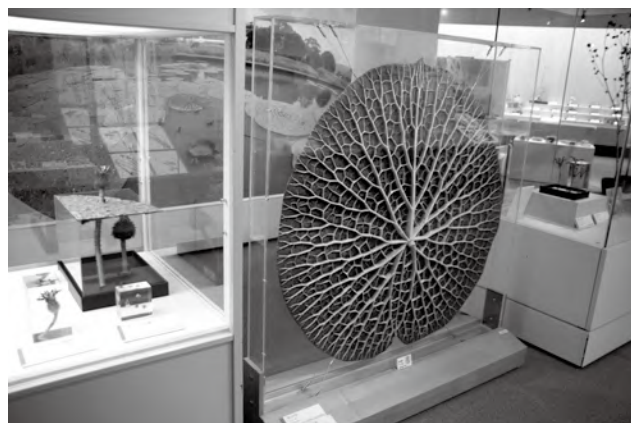
②講座 「秋みつけ—秋の植物やきのこをみつけよう—」

日程：令和5年10月15日（日）

会場：百年公園



展示のようす (1)



展示のようす (2)

企画展 美しき鉱物の世界

1 開催期間、会場

期間：令和6年1月20日（土）～3月17日（日）

会場：岐阜県博物館 4階 企画展示室

2 主催

主催：岐阜県博物館

3 趣旨

地球が誕生し46億年、大地には長い地球の営みで生み出された鉱物資源が至る所に眠っている。これらの鉱物資源は経済の発展に大きく貢献し、時には人の目を楽しませてきた。この企画展では地下に眠る貴重で魅力的な鉱物資源を紹介した。

鉱物（岩石）には色彩が豊かなものや、結晶構造が綺麗なもの、鉱石（金属を得るために使われる鉱物・岩石）として使われているものなどがあり、展示を通して、地球を形作る鉱物や、普段から身の回りで使われている金属がどのようなものから作られているかを知り、鉱物（岩石）への関心を高める機会とした。

4 展示構成

第1章 鉱物ができる

- (1) 地球ができる（主な展示資料：美濃隕石、長良隕石レプリカ1号・2号、隕鉄など）
- (2) 鉱物ができる（主な展示資料：火成岩、ペグマタイト、熱水脈、スカルン、変成岩、風化・堆積・酸化、それぞれの場所のできる主な鉱物）
- (3) トピックス（主な展示資料：リュウグウサンプルレプリカ、火星起源の隕石）

第2章 美しき鉱物の世界

- (1) 化学組成で分ける鉱物の世界（主な展示資料：元素鉱物、硫化鉱物、酸化鉱物、ハロゲン化鉱物、炭酸塩鉱物、ホウ酸

- 塩鉱物、硫酸塩鉱物、リン酸塩鉱物、ケイ酸塩鉱物
- (2) 面白い形・綺麗な色の世界（主な展示資料：イカ石、アクアマリン・フローライト共生体など）
- (3) 触ってみよう・見てみよう（主な展示資料：南極の石、黄鉄鉱、蛍光鉱物、特大方解石など）

第3章 岐阜県ゆかりの鉱物

- (1) 岐阜県産鉱物（主な展示資料：方解石（大垣市）、蛍石・柘榴石・方鉛鉱・透輝石（関市）、水晶・長石・トパーズ（恵那市・中津川市）、石英群晶・閃亜鉛鉱・黄銅鉱（飛騨市）など）

5 関連事業

- (1) 学芸講座「日本の宝石鉱物 ―岐阜は宝石鉱物の宝庫―」
講師：石橋 隆（大阪大学総合学術博物館 招へい 研究員）
日時：2月18日（日）（13：30～15：00）
会場：けんぱくホール
- (2) けんぱく教室「ジオード割り体験」
日時：3月2日（土）（13：30～15：00）
会場：講堂
- (3) ギャラリートーク
随時



展示のようす (1)



展示のようす (2)

博物館・岐阜県図書館連携企画展 「岐阜の城館探訪Ⅱ ―最近の調査成果からみた岐阜の戦国―」

1 開催期間

令和5年4月22日(土)～6月18日(日)

2 主催

主催：岐阜県博物館・岐阜県図書館

3 趣旨

岐阜県下における中世城館・近世城郭遺跡は、平成8年度から16年度まで実施された岐阜県中世城館跡総合調査によって、809ヶ所の城館と189ヶ所の城館跡参考地等が明らかになった（『岐阜県中世城館跡総合調査報告書第4集』より）。一方、国指定、県指定の史跡を見ると、岐阜県下では古墳と並んで城館跡の指定件数が多く、地域の歴史をあらわす遺跡として大切に保護されている。現在も地域の歴史解明などとともに、地域のシンボルとして保存し活用することを目指し、各地で調査研究が盛んにおこなわれている。

今回は、岐阜の城館について、特に国指定史跡を目指して調査研究が進められている城館跡を紹介した。また、戦国時代の岐阜の様子を城館跡の分布図からみてみた。なお、本店では便宜上、岐阜県下を岐阜と呼称した。

4 展示構成

第1章 最前線 岐阜の城館跡調査

国史跡指定を目指す城館跡の最新の調査成果の一部を紹介した。

近年、高い精度の測量とそれを活用した遺構分布図の作成、そして精密な発掘調査があわせて行われることにより、城館跡の実態がより鮮明となっている。また発掘調査による遺構やその時期、出土品の分析から、例えば山城の様子についての理解が大きく見直されている。

ここでは、下記城館跡の調査成果について、出土品とともに赤色立体地図や遺構配置図などを用いて示した。

姉小路氏城館跡（飛騨市） 篠脇城跡（郡上市）

大桑城跡（山県市） 松倉城跡（高山市）

第2章 岐阜の戦国と城館

守護土岐氏の盛衰、斎藤道三の国盗り、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の天下取りなどの舞台となった美濃。国司姉小路氏と三木氏・江馬氏の三つ巴の争い、三木氏による統一、その直後の金森長近の侵攻など、激動の歴史をたどった飛騨。

ここでは、戦国の岐阜を城館の分布図で見てみた。主に『岐阜県中世城館跡総合調査報告書第一集～第四集』にまとめられた城館歴、

概要をもとに時期ごとの主な城館分布を図にして提示した。



展示の様子

5 関連行事

ギャラリートーク

令和5年4月30日（日）及び5月21日（日）の2回、13時半から約30分程度ギャラリートークを行った。

移動展 絶滅から救え！ ぎふの鳥ライチョウ

1 開催期間、会場

期間：令和5年7月15日（土）～10月1日（日）

会場：飛騨高山まちの博物館 2階 特別展示室

〒506-0844 高山市上一之町75番地

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館

共催：高山市教育委員会

後援：岐阜県教育委員会

3 趣旨

岐阜県は、標高3,000mを超える飛騨山脈から木曾三川が流入する濃尾平野まで、地域によって気候や地形に大きな差があり、多種多様な生物が見られる。なかでも、ライチョウは、御嶽、乗鞍山及び飛騨山脈に生息し、岐阜県の豊かな自然を象徴する鳥である。現在、ライチョウは絶滅の危機にあり、さまざまな方法で保全活動が行われている。そのなかで、乗鞍岳に生息するライチョウが中央アルプスの個体群の復活に貢献するなど、重要な役割を果たしている。

本移動展では、標本や江戸時代に描かれた絵図など、岐阜県博物館と飛騨高山まちの博物館が所蔵するライチョウに関わる資料を数多く紹介し、絶滅の危機にあるライチョウの現状を知り、私たちは何ができるのかを考えていただく機会とした。

4 展示構成

(1) ぎふの鳥 ライチョウ

主な展示資料：ライチョウのおみやげ（包装紙）

(2) 描かれたライチョウ

ライチョウが描かれた図や花鳥画を紹介した。

主な展示資料：飛騨騎鞍嶽雷鳥之図（飛騨高山まちの博物館所

蔵）、雷鳥が描かれた花鳥画など

(3) ライチョウのなかま

ライチョウを含むギジ科の鳥類を紹介した。

主な展示資料：ニホンライチョウ（岐阜大学所蔵）などの剥製

(4) すみかと食べもの

高山帯に生息するライチョウの生態を紹介した。

主な展示資料：高山帯に生育する植物標本など

(5) 迫る脅威と保全活動

ニホンライチョウに迫る危機と現在行われている保全活動を紹介した。

①温暖化

主な展示資料：チシマザサやイネ科植物の植物標本

②新たな天敵と大型哺乳類の侵入

主な展示資料：キツネ、テン、ニホンザルなどの剥製

③ライチョウ復活作戦

主な展示資料：中央アルプス産ライチョウの剥製（長野県宮田小学校所蔵）、ライチョウ用の飼料（富山市ファミリーパーク提供）

(6) 学校教育とライチョウ

戦前の学校教育とライチョウとのかかわりを紹介した。

主な展示資料：高等学校が保管していたライチョウの剥製、戦前の教科書、博物学標本目録

5 関連事業

(1) 学芸講座

「岐阜県民は県の鳥“ライチョウ”が嫌いなのか？」

講師：楠田哲士（岐阜大学 教授）

日時 8月27日（日）（13：30～15：00）

会場 けんぱくホール



展示のようす (1)



展示のようす (2)

博物館・岐阜大学・名古屋大学博物館連携企画展 「おもしろい骨のはなしーしらべる・つくる・のこすー」

1 開催期間・会場

期間：令和5年10月23日（月）～12月6日（水）

会場：岐阜大学図書館2階エントランスホール

岐阜市柳戸1-1

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館

共催：岐阜大学、名古屋大学博物館

協力：岐阜大学学術アーカイブズ企画運営室

3 趣旨

現在、私たちヒトと同じ脊椎動物は約7万種が知られている。最初の脊椎動物は海で生まれ、顎を持たない魚のような形をした生物であった。その後、脊椎動物は、顎を獲得し、効率よく餌を取ることができるようになり、さらには四肢の進化にともない、陸上や空中へ進出した。

今回の企画展では、博物館や大学での骨に関する研究や資料収集活動を紹介しながら、さまざまな動物の骨の標本を展示することで、動物の骨の形の不思議さや美しさを楽しみ、多様な生物の世界への関心を高める機会とした。

4 展示構成

(1) しらべる

①動物の生態は骨のカタチにあらわれる

藤原慎一（名古屋大学博物館）

②CT画像からわかるペルーガの不思議

神尾高志（名古屋港水族館）

③骨に残る記録からキリンの栄養と健康を考える

郡司芽久（東洋大学）・八代田真人（岐阜大学応用生物科学部動物栄養学研究室） 楠田哲士（岐阜大学応用生物科学部 動物

園生物学研究センター）

④3Dスキャナ型三次元測定機を用いた動物計測

森部純嗣（岐阜大学社会システム経営学環）

⑤ツキノワグマの歯から年齢を調べて野生動物管理に活かす

橋本 操（岐阜大学教育学部）

⑥乗鞍岳で発生したツキノワグマによる人身事故

浅野玄（岐阜大学応用生物科学部 附属野生動物管理学研究センター）

⑦骨から探る昔の人々の生活

新美倫子（名古屋大学博物館）

(2) つくる

①動物園の動物遺体を教材としていかす

楠田哲士（岐阜大学応用生物科学部 動物園生物学研究センター）

②サポーターグループ ダチョウ組の活動

岐阜県博物館

③頭骨の3Dレプリカ標本

岐阜県博物館

(3) のこす

①未来の学生教育・研究のためのアーカイブ標本

尾之内佐和・齋藤正一郎（岐阜大学応用生物科学部獣医解剖学研究室）

②戦前の学校教育で使われた骨格標本

岐阜県博物館

③漂着したマッコウクジラを骨にする

新美倫子（名古屋大学博物館）



展示会場のようす (1)



展示会場のようす (2)

岐阜県歴史資料館・岐阜県博物館連携企画展 「美濃 徳川領国への道」

1 開催期間

期間：令和5年10月14日（土）～11月26日（日）

2 主催

主催：岐阜県歴史資料館・岐阜県博物館

3 趣旨

江戸時代の美濃は、最大20万石近くの幕府領が設定された、徳川氏の領国とも言うべき地域であった。しかし美濃は、徳川氏の元からの領国ではない。戦国時代末期、美濃は織田信長の本拠地であり、また豊臣秀吉にとっても重要な領地であった。徳川氏が美濃に本格的に勢力を伸ばすのは、家康が関ヶ原合戦で勝利した後のことである。

本展示では、岐阜県歴史資料館・博物館の所蔵資料により、織田・豊臣両氏の領国であった美濃が、関ヶ原合戦後、徳川氏の領国に組み込まれていく様子を紹介した。

4 展示構成

第一章 織田・豊臣の美濃 一徳川氏以前の美濃一

永禄10年（1567）、織田信長の稲葉山城攻略後、美濃は信長の本国であった。また信長死後も、豊臣秀吉にとって美濃は重要な領地であった。ここでは、信長と美濃武士との関係から信長本国としての美濃、美濃における秀吉の施策を紹介した。

【展示資料】※（資）は歴史資料館蔵、（博）は博物館蔵

加納宛織田信長定写（資） 織田信長像（複製）（博、原本は神戸市立博物館蔵） 根尾三人衆宛織田信長朱印状（資） 斎藤利堯禁制写（資） 織田信孝禁制（資） 羽柴秀長禁制（資） 羽柴秀長禁制札（博） 豊臣秀吉肖像（資） 豊臣秀吉掟書写（資） 美濃国安八郡之内まき村御検地帳写（資） 豊臣秀吉朱印状写（資） 徳川家康書状（資） 豊臣秀吉朱印状（博） 徳川家康書状（博）



展示室の様子

第二章 関ヶ原合戦 一徳川氏美濃進出の契機一

慶長5年（1600）9月15日、関ヶ原において徳川家康率いる東軍と石田三成率いる西軍が戦った。家康はこの合戦に勝利し、天下人への道を歩む。また、この合戦の結果、美濃の大名11家が改易された。ここでは、戦乱を前にした人々の対応や合戦の結果豊臣系大名が消え、徳川家康の勢力が美濃に入って来る様子を紹介した。

【展示資料】

西順寺寺内掟書（資） 岐阜中納言秀信卿御家人（資） 織田秀信禁制写（資） 池田輝政禁制（資） 関ヶ原合戦絵巻（博） 関ヶ原御陣場図（資） 稲葉正成画像（博） 徳川家康禁制写（資） 遠藤慶隆寄進状写（資）

第三章 徳川領国へ 一直轄領と譜代大名一

関ヶ原合戦後、美濃の西軍大名は改易され、その没収地には、奥平氏（加納藩）や石川氏（大垣藩）など、徳川氏の譜代大名が新たに入った。さらに、大名領の間には、徳川氏の直轄領あるいはその旗本領が設けられた。ここでは、徳川氏が美濃を掌握する過程を、①徳川氏直轄地の設定、②譜代大名の登場、③慶長14年（1609）の美濃一国検地（石見検地）から紹介した。

【展示資料】

大久保長安制札写（資） 和田恒成書状写（資） 拾万石御知行高帳（資） 御家中御知行渡方帳（資） 加納城絵図（個人蔵） 大坂夏御陣之記 二（資） 美濃国安八郡大井荏大垣城主暦代記（資） 大垣城郭絵図（資） 濃州方県郡木田村御縄打水帳（資） 平岡良和書状写（資） 平岡良和・和田恒成・鈴木左馬助連署書状写（資） 濃州高帳（資） 土俵空穂（博） 紺糸威背割試具足（博）

第四章 美濃の豊臣家臣たち 一徳川につくか、それとも一

関ヶ原合戦以後、美濃に徳川氏の勢力が進出した。美濃に領地を持つ者の多くは徳川氏に従い、旗本や尾張藩士となった一方、豊臣氏の家臣であり続ける者もいた。ここでは、徳川氏の家臣となる者や元和元年（1615）の大坂夏の陣で豊臣家と共に滅亡した者がいたことを紹介した。

【展示資料】

当氏来由（兼松氏）（資） 小武弥三郎宛織田信長朱印状（資） 亥年濃州江渡・美江寺・呂久船橋道具割帳（資） 寛延元年美濃路佐渡川船橋絵図（資） 中山道河渡宿より呂久渡迄往還絵図（資） 神鏡模写（資） 大坂冬夏の陣配置図（資） 大坂夏御陣之記 七（資） 江戸幕府年寄衆連署書状（資） 上様巳之年御上洛之時御舟橋道具ノ割帳（資）

けんぱく・関市連携企画展 「未来へ伝統をつなぐ ー関市の文化財ー」

1 開催期間

令和6年2月3日(土)～3月24日(日)

2 主催

主催：岐阜県博物館・関市

3 趣旨

岐阜県博物館では、平成29年度から博物館が立地する関市と連携し、関市の誇るべき歴史や文化財についての展覧会を開催している。

今回は、関市の仏教美術や国の重要無形民俗文化財に指定された小瀬鶴飼のほか、700年にわたる鍛冶を支えた「刃物のまち」の変遷と、現在にも受け継がれる関鍛冶の技術など関市の文化財を紹介した。

4 展示構成

(1) 美と祈り ー関市 珠玉の仏教美術ー

国指定重要文化財（建造物）に指定される日竜峯寺多宝塔の内部に関する壁画彩色模写（文化庁蔵）や国指定重要文化財（彫刻）の木造菩薩坐像（臨川寺蔵）、絹本着色仏涅槃図（複製：汾陽寺蔵）などの関市に由来のある仏教美術を紹介した。



展示の様子（1）

(2) 清流長良川と伝統 ー小瀬鶴飼ー

国重要無形民俗文化財に指定される「長良川の鶴飼漁の技術」小瀬鶴飼について、関市指定民俗文化財「小瀬の鶴飼用具」を中心に展示し紹介した。



展示の様子（2）

(3) 700年続く伝統技術・産業 ー関鍛冶の発展とまちの歴史ー

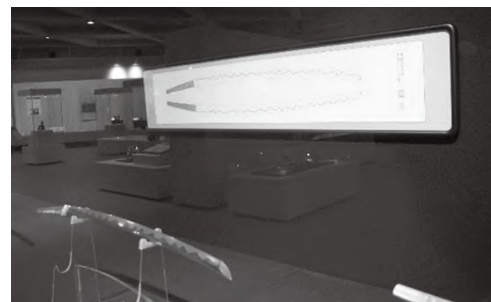
鎌倉時代より続く刀匠や鍛冶職の技術は、今日に至る刃物産業にも引き継がれている。明治時代以降のまちの変遷から関鍛冶とまちの結びつきを紹介した。



展示の様子（3）

(4) 現代刀匠 尾川兼國 ー受け継がれる技術ー

南北朝時代から現代まで途切れることなく継承されてきた関の刀剣の技術について、令和5年2月21日付、岐阜県重要無形文化財に指定された尾川兼國氏の作品を紹介した。



展示の様子（4）

5 関連事業

(1) 学芸講座

「関市の文化財」

講師：森島一貴（関市文化課文化財保護センター）

日時 10月22日（日）（13:30～15:00）

会場 けんぱくホール

マイミュージアムギャラリー

1 展示内容

	展示会	展示内容	
1	<p>野原櫻州の世界</p> <p>出展者 細野 孝雄</p> <p>令和5年4月8日(土) ～5月14日(日)</p> <p>観覧者数: 2,662人</p>	<p>細野氏は知人の紹介で、郷土・揖斐川町出身の画家・野原櫻州の魅力を知り、作品を収集しようと思い立ち、一点一点と収集している内に25年が立ち、多くの作品を収集した。</p> <p>今回は、細野氏の収集物の内、野原櫻州の代名詞である「薔薇画」の屏風や掛軸、「美人画」「虎画」「茶碗」など、初期から晩年まで幅広い年代の作品、約35点が展示された。</p>	
2	<p>あそび</p> <p>ー楽しいひとときをデザインするー</p> <p>出展者 大垣女子短期大学デザイン美術学科 楽しいひとときデザイン実行委員会</p> <p>令和5年5月27日(土) ～7月2日(日)</p> <p>観覧者数: 2,859人</p>	<p>『楽しいひとときをデザインする』をコンセプトに、「実は100種類以上もあるトランプの世界」「岐阜にズームイン!」「壬申の乱のぞいてみよう!! 武将のステータス」と3つのテーマの作品を制作。各テーマについて、体験コーナーや、ワークショップなど、ハンドメイドによる「あそび」を設置し観覧者が楽しめるように工夫した展示を行った。卒業生紹介として、現役で活躍しているマンガ家の紹介や卒業制作記念展の選抜展を同時開催された。</p>	
3	<p>あの頃夢中になった ヒーローヒロイン</p> <p>出展者 石原 千照/中島 玄裕</p> <p>令和5年7月22日(土) ～9月3日(日)</p> <p>観覧者数: 6,707人</p>	<p>あの頃夢中になったヒーローヒロインをテーマに石原氏と中島氏の収集物による共同展示を開催。両氏共に、幼少期に親から貰い受け、夢中になって遊び、その後も収集を続けた。石原氏はキャンディキャンディの人形や日用品、書籍を中心に110点、中島氏はスーパー戦隊シリーズ・全シリーズの合体ロボット1・2号機のフィギュアを中心に約990点が展示された。</p>	
4	<p>島田翠鳳の花鳥画展</p> <p>出展者 野村 千秋</p> <p>令和5年9月23日(土・祝) ～10月29日(日)</p> <p>観覧者数: 5,336人</p>	<p>野村氏の父である美濃市の出身、岐阜市に在住した日本画家・島田翠鳳(1922年～2002年)は花鳥画を得意とした画家である。色彩に豊かに描いた花鳥の掛軸や油絵、ユーモラスに描いた狸の掛軸など、野村氏が父・翠鳳から貰い受けた作品だけでなく、今回の展示に合わせて収集した約30点が展示された。</p> <p>父の翠鳳から画法を継承した長男、島田恒鳳(1954～)の色紙も同時に展示された。</p>	
5	<p>一針一針願いを込めて 百徳きもの展</p> <p>出展者 百徳キルトの会 代表 呉山裕子/宮本志保子</p> <p>令和5年11月11日(土) ～1月8日(月・祝)</p> <p>観覧者数: 4,662人</p>	<p>百徳キルトの会による、百徳きもの作品展が開催された。百徳きものは江戸時代から続く金沢市の風習で、子どもの健やかな成長を願い、一針一針縫い繋ぎ、着物にするという文化で端布を近隣、縁者から百枚集め、より多くの福を縫い入れて仕立てたものである。呉山氏、宮本氏は伝統を残そうと、現代的なアレンジを加えながら作品作りを続けている。今回は、同会の岐阜県や愛知県の会員の作品を中心に約150点が展示された。</p>	
6	<p>廃材がartに変わる</p> <p>竹・木材のart ダンボール工作</p> <p>出展者 暮石 樹/野倉 光春</p> <p>令和6年1月20日(土) ～年3月10日(日)</p> <p>観覧者数: 7,711人</p>	<p>両氏の作風に違いはあるが、廃材を上手く活用して、面白い形にするというコンセプトは同じであり、使われなくなった竹や木、ダンボールを材料に、その持ち味を活かして、昆虫、動物、恐竜、乗り物など様々な形を制作。暮石氏は、ダンボールを使って恐竜や怪獣、童話をテーマに頭に浮かんだものを制作し40点を展示。野倉氏は、竹、木材を材料にリアルな昆虫、可愛い動物を制作し、180点が展示された。</p>	

2 出展者による催し物等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、展示期間中には出展者が主催者となった催し物や展示解説を行った。

(1) 第2回展示

あそび楽しいひとときをデザインする

- ・ハンドゲームで楽しもう

日時：令和5年7月2日（日）13：00～15：00

講師：大垣女子短期大学デザイン美術学科

楽しいひとときデザイン実行委員会

会場：マイミュージアムギャラリー



(2) 展示解説

各展示において、出展者が定期的に在廊し、観覧者に展示解説を行った。



6 調査研究活動

〔調査研究〕

(1) 人文部門

① 考古分野

ア 展示にかかわる調査研究

令和5年度博物館・図書館連携企画展「岐阜の城館探訪Ⅱ ― 最近の調査成果からみた岐阜の戦国―」及び令和6年度博物館・文化財保護センター連携企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史 ― 古代・中世寺院跡総合調査の成果より―」の開催に向け、調査研究を行った。

岐阜の城館跡に関しては、城館跡の分布図をまとめ、『岐阜県博物館調査研究報告』第44号に掲載した。

令和6年度企画展については、『岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書』及び県内の主な古代・中世寺院跡の発掘調査成果について調査を行い、展示テーマ及び構成の検討を行った。

② 歴史分野

ア 企画展等にかかわる調査研究

令和5年度歴史資料館・博物館連携企画展「美濃 徳川領国への道」の開催に向け、館蔵資料の調査研究を行った。

翌年度以降の展示に向けて関連資料の調査を行い、今後の調査研究及び展示の方向性を検討した。

新収蔵資料の調査研究を行い、その成果を『岐阜県博物館調査研究報告』第44号に掲載した。

イ 常設展にかかわる調査研究

企画展開催期間中に適宜展示替えを行い、企画展テーマにも関連する館蔵資料の展示・紹介を行った。

- ・連携企画展「美濃 徳川領国への道」関連陳列
令和5年10月14日(土)～11月26日(日)

③ 民俗分野

ア 特別展にかかわる調査研究

令和5年度特別展「岐阜の祭り」の実施

岐阜県における祭りに関する展示を行った。祭具の実物やレプリカ、祭りを紹介するパンフレット等、総数70以上の資料を展示した。

また、展示品の解説や祭りについて詳細を記した図録を発行した。

イ 常設展示にかかわる調査研究

昭和の居間ジオラマにつき季節ごとの展示替えを行うとともに、以下の通り各コーナーでミニ企画展示を実施した。

(1) 昭和の居間コーナー

第1期(春、夏)：令和5年4月11日(火)～9月30日(土)

第2期(秋)：令和5年10月3日(火)～12月3日(日)

第3期(冬)：令和5年12月5日(火)～

令和6年3月下旬

(2) 昭和の居間前のケース

「春から夏の農作物と農具」

「芸術の秋関連(音楽、芸術)」 「寒い冬には灯をともしよう」

ウ 旧徳山村民家(旧宮川家住宅)整備

登録有形文化財(建造物)・旧宮川家住宅主屋について、国庫補助を活用し、令和元年度から整備事業を実施している。今年度は、昨年度から継続中の耐震補強工事の施工を行った。同時に防犯カメラや消火栓設備、非常通報装置の設置工事の施工も実施した。

また、屋根が屋の葺き替えも実施して、7月には希望者を募り、葺き替えの見学会を行った。

12月にはすべての整備事業が完了し、6年度の一般公開再開に向けての準備作業を行った。

④ 美術工芸分野

ア 企画展にかかわる調査研究

(1) 「岐阜県博物館コレクション 錦絵からみた武士の世界」(2023/4/15-6/11)

岐阜県博物館で収蔵している錦絵全248点のうち、武士にまつわる錦絵38点を紹介した。

(2) けんぱく・関市連携企画展示「未来へ伝統をつなぐ―関市の文化財」(2023/2/3-3/24)

関市の仏教美術や国の重要無形民俗文化財に指定された小瀬鶴飼のほか700年にわたる鍛冶を支えた「刃物のまち」の変遷と、現在にも受け継がれる関鍛冶の技術など関市の文化財を紹介した。

イ 企画展等にかかわる研究調査

令和6年度移動展「UKIYO-E 一多岐多様」の準備

飛騨高山まちの博物館でおこなわれる浮世絵の展示の企画立案を行い、調査を進めている。

(2) 自然部門

① 動物分野

ア 主な研究テーマ

(ア) 里地里山に生息する動物の生態について

(イ) 戦前の鳥獣採集家及び博物学標本商について

イ 館内サークル活動の企画及び運営

ダチョウ組(動物標本作製サークル)、岐阜の魚研究会、クモ研究会、モニタリングサイト1000里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

ウ 他団体との調査活動

(ア) ウシモツゴを守る会(ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査、岐阜県水産研究所、世界淡水魚園すいぞくかん アクア・トトぎふ、関市、美濃市、NPO法人ふるさと自然再生研究会と共同)

② 植物分野

ア 主な研究テーマ

(ア) 里地里山に生育する植物種の記録

(イ) 教師教育プログラムの開発

イ 館内サークル活動の企画及び運営

(ア) モニタリングサイト1000里地調査

(イ) 標本整理及び展示資料作成

ウ 他団体との調査活動

(ア) 岐阜県植物誌調査会(岐阜県植物誌編纂関係調査、岐阜県レッドデータ調査)

(イ) 岐阜県植物研究会(岐阜県内の植物の調査)

(ウ) 岐阜県教育委員会(教師のための研修講座実施(博物館活用講座))

③ 地学・古生物分野

ア 主な研究テーマ

(ア) タイ王国産恐竜足跡化石の足跡学的研究

- (イ) 福島県産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (ウ) 岐阜県における手取層群の脊椎動物化石調査
- (エ) 岐阜県における古生界動物化石調査
- (オ) 岐阜県における瑞浪層群の化石調査
- (カ) 長野県における来馬層群化石調査

イ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) 県内外産化石クリーニング作業 (シオグループ)
- (イ) 県内の化石産地における化石採集
- (ウ) 収蔵化石標本の整理

ウ 他団体との調査活動

- (ア) 筑波大学との古生物学的共同研究
- (イ) タイ国鉱産資源局地質調査所 (DMR: Department of Mineral Resources of Thailand) との古生物学的共同研究
- (ウ) 福井県立恐竜博物館との共同調査
- (エ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館及び東京都市大学との古生物学的共同研究

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム系の業務には、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務がある。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイミュージアムギャラリー (マイ・ミュージアム棟2階・展示室) で「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体 (法人等)」が長年にわたって、調査・研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

マイ・ミュージアム業務には、岐阜県博物館収蔵資料データベースに係る業務、当該データベースのデジタルコンテンツ拡充・インターネット公開に係る業務 (ホームページ運用を含む)、並びにけんぱくホール活用業務があり、ほかに岐阜県博物館の全県展開事業のとりまとめ、中でも民間商業施設連携事業を実施している。

①マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品が多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして次年度の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

- ・日時 令和5年10月24日 (火) 13:30~15:00
- ・場所 マイ・ミュージアム棟3階 けんぱくホール

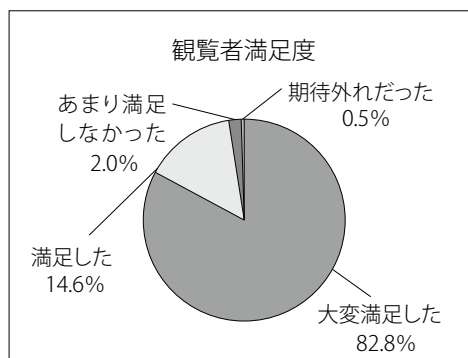
ウ 展示記録「マイ・コレクション」(展示紹介チラシ)の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。令和5年度は平成7

年度からの通番で、第204号から第209号までを発行した。

エ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。



【図1 観覧者の満足度 (選択式 n=399, R5年4月~R6年3月)】

また、図1に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流することにより趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものとする。

更に、出展者への意識調査では、高い満足度を得ていることが分かった。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものと見える。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改善が必要であることが明らかとなった。

情報機器を活用した展示やレイアウトやパーティションを工夫した展示がいくつかあり、ギャラリー運営の新たな可能性を見出した。また、展示・照明器具を増設し、出展者の要望に幅広く対応した。今後も更に展示方法の改善を図り、出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。

オ 令和6年度の出展申し込み

令和6年度出展候補として申込は8件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

平成27年度より、高校生以下の部活動等による成果発表の場によるU-18ミュージアムを実施し、令和5年度展示は、初めて大学生による展示が行われた。今後も若い世代の成果発表の場を広げるために努めたい。

カ 令和6年度展示計画及び今後の課題

令和6年度出展候補8件についてマイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて会員から意見を聴き5件の展示を決定した。年間をとおしての展示内容のバランスや本館展示との連携を考えて、コレクションを中心とする出展希望の更なる充実を図ることが今後の課題である。

【マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成】

氏名	所属等
浅野 裕司	岐阜県博物館元館長
岩井 弘栄	民間有識者（財界）
加藤 誉使子	民間有識者（美術関係）
杉江 祐子	岐阜県立関有知高等学校長
土屋 明之	岐阜県芸術文化会議会長
若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

（五十音順 敬称略）

② マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟は平成7年に竣工し、ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」等のオリジナルソフトを制作、マルチメディア情報センターや先進的なハイビジョンホールを設置して、岐阜県における情報施策の拠点となる一方、県民の収蔵品や作品を展示公開するマイミュージアムギャラリーを運営して、ユニークな活動を展開してきた。しかし、マルチメディアやハイビジョンが前時代的となり、メディア編集・発信が個人的に行われる現在、その普及啓発の意義が薄れたとして、工房の利用・稼働を休止している。

現在の岐阜県博物館におけるマイ・ミュージアム事業は、既存の情報通信機器・システムを活用したデジタルコンテンツの作成・発信、収蔵品データベースの運用・拡充及びホームページの運用更新を行っている。

ア 収蔵品データベースの運用

岐阜県博物館では、平成21年度末、全国の博物館・美術館でサーバを共有するクラウドサービス（I.B.MUSEUM SaaS）に収蔵品データを移行し、平成23年度に一部データのインターネット公開を含めた収蔵資料データベースの本格的な運用を開始した。

現在は、受け入れた博物館資料及び資料利用履歴のデータベース管理を実施している。

一般的な資料管理の他、当該データベースから一部データを一般公開用としてデータを流用し、公開サイト（資料検索システム。平成27年度より運用し、令和5年3月現在の公開は591件。）と「ポケット学芸員」（展示ガイドアプリ。令和元年度より運用し、令和5年3月現在の公開73件。）をインターネット経由で公開する機能を活用している。双方ともに順次コンテンツを充実させていく予定である。

コンテンツの拡充にあたっては、常設展示物・コーナーの公開が一通り終了しているため、今後は、展示替えを伴う収蔵品や、教育普及プログラム（体験メニューや定時展示解説など）も含めて柔軟に対象を拡大していきたいと考えている。

イ 館内Wi-Fi（ポケット学芸員）

平成30年度の館内Wi-Fiの整備に伴い、収蔵品データベースの拡張機能を活用した音声ガイド（ポケット学芸員）の運用を開始した。令和元年度に人文係・自然係が原稿を作成し、岐阜県高等学校文化連盟（高文連）放送部会の岐阜県放送コンテスト上位入賞者のうち希望者に録音を依頼して音声データを作成、令和2年4月よりデータベースを介して公開した。令和3年度以降は職員による録音を行って、公開件数の拡充を図っている。

ウ けんぱくホールの活用

けんぱくホールは、団体利用等の利用に供するほか、岐阜県博物館の講演会シリーズである「博物館学芸講座」（次項に詳述）の会場として活用している。

令和2・3年度に新型コロナウイルス感染拡大防止のため半減していたホール定員を、令和5年1月より120人に復した。三密を忌避する参加者向けにzoomによるリモート会場を用意したが、利用はなく、おおむねコロナ前の実施状況に復している。

(A) 博物館学芸講座について

「博物館学芸講座」は、平成26年度に立ち上げた講演会シリーズ（29年度に「大人のための博物館講座」から現行に改称）で、県民の歴史・芸術・民俗・産業・自然科学等に対する知的好奇心を喚起し、文化振興に寄与することを目的として実施している。当館学芸員や外部の有識者が講師を務め、岐阜県及び当館事業（特別展・企画展・常設展示など催事）に関連するテーマやその折々の旬の話者による最新学術情報を取り上げてきた。年間8～14回開催しており、令和5年度は12回にわたって開催した。

令和5年度実施分は次の一覧の通りである。なお、下表4は岐阜県博物館協会中濃ブロック公開講座と兼ねて行った。

博物館学芸講座一覧(令和5年度)

	開催日	演題	講師	所属・肩書	参加人数
1	5/13 土	描かれた日本の武将たち 錦絵「武者絵」の魅力	菅原 真弓	大阪公立大学文学研究科 教授	39
2	6/11 日	熱田神宮とその宝刀	福井 款彦	熱田神宮文化研究員兼宝物館学芸員	68
3	6/25 日	小さな化石の大きな発見 篠山層群の爬虫両生類化石	池田 忠広	兵庫県立大学 准教授 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員	41
4	7/17 月祝	「緩やかな保存」の提案 地域民具資料のこれからを考える	川邊 咲子	国立歴史民俗博物館研究部特任助教	53
5	7/30 日	古川祭の起し太鼓と屋台行事	本永 義博	飛騨市教育委員会 文化財研究員	57
6	8/27 日	岐阜県民は県の鳥“ライチョウ”が嫌いなのか？	楠田 哲士	岐阜大学応用生物科学部 准教授	43
7	10/22 日	関市の文化財	森島 一貴	関市文化財保護センター 職員	34

8	11/5 日	きのこの不思議	吹春 俊光	千葉県立中央博物館 上席研究員	92
9	11/19 日	中世の木曾川と美濃路	榎原 雅治	元東京大学史料編纂所所長	81
10	12/16 土	意外と知らない、カモノハシの不思議 化石から外交まで	浅原 正和	愛知学院大学教養部 准教授	40
11	1/14 日	加藤貞泰と家臣団:美濃から伊予大洲へ	東 昇	京都府立大学文学部 教授	101
12	2/18 日	日本の宝石鉱物 岐阜は宝石鉱物の宝庫	石橋 隆	大阪大学総合学術博物館 招へい研究員	103

※博物館学芸講座以外の講演会は P30 に記載

(B) 民間商業施設連携（全県展開事業）

平成 29 年度より全県域へのアウトリーチ活動(博物館機能の全県展開事業)の一環として、大型民間商業施設との連携事業を実施している。集客力の大きいショッピングモールで、出張けんぱく教室(ワークショップ)やサテライト展示を行い、館の周知と来館誘致を図っている。

平成 29 年度に、モレラ岐阜(本巣市)、カラフルタウン岐阜(岐阜市)、マーサ 2 1(岐阜市)、マーゴ(関市)の 4 施設で開始し、このうちマーゴにはポスター・チラシの常設コーナーを設置していただいている(なお、マーサ 2 1にも常設コーナーを設けていたが、3 年 12 月より店舗改装のため撤去中である)。モレラ岐阜では、当館展覧会に関連したクイズ

ラリーを継続して行っている。令和 3 年度にイオンモール各務原(各務原市)でも新たに連携事業を開始した。

4 年度には、新たに、県産品流通支援課の声掛けによりアクティブ G(岐阜市)の催事に参加し、岐阜県博物館評議会の委員の意見を受けて、実績のなかった東濃地域においてイオンモール土岐(土岐市)で実施した。

また、マーゴ常設コーナーを拡充し、パネル展示や実物展示を実施する岐阜県博物館コーナーを新設していただき、チラシ・ポスターのほか、パネル展示(実物展示含む)を行った(令和 4 年 10 月~6 年 1 月)。

令和 5 年度実施分は次の一覧の通りである。

民間商業施設連携事業一覧(令和 5 年度実施分)

a 出張けんぱく教室

開催日	施設	場所	催事	参加人数
4/8 土	マーゴ	2F 夢広場	きらきらジオードわりにちょうせん!	201
4/15 土	カラフルタウン岐阜	1F グルメタウンコート	はっぱでしおり! 葉脈標本をつくろう	186
4/29 土	マーサ 2 1	1F マーサスクエア	かせきはっけん! ノジュールわり体験	161
5/4 木祝	モレラ岐阜	1F ホワイトプラザ	はっぱでしおり! 葉脈標本をつくろう	145
7/15 土	アクティブ G	2F ふれあい広場	きらきらジオードわりにちょうせん!	166
8/5 土	イオンモール各務原	2F コメダ珈琲店前	8/5 化石レプリカづくり	299
8/6 日			8/6 かせきはっけん! ノジュールわり体験	227
10/9 月祝	イオンモール土岐	1F 北コート	化石レプリカづくり	264

b サテライト展示

期間	施設	場所	タイトル	来場人数
2/22 木~3/14 木	モレラ岐阜	2F ホワイトプラザ	美しき鉱物	計測不能

マーゴ 2F ぎふけんぱく紹介コーナー(令和 4 年 10 月~6 年 1 月)

期間	テーマ	種別	関連展示
3/17 金~5/15 月	野原櫻州の世界	パネル	MMG1 「野原櫻州の世界」
3/17 金~6/12 月	錦絵からみた武士の世界	パネル	企画展「錦絵からみた武士の世界」
5/16 火~7/3 月	あそび	パネル	MMG2 「あそび」
6/13 火~9/4 月	岐阜の祭り	パネル	特別展「岐阜の祭り」
7/4 火~9/4 月	ヒーローヒロイン	パネル	MMG3 「ヒーローヒロイン」
6/21 水~10/11 水	ぎふの鳥ライチョウ	パネル	移動展「ぎふの鳥ライチョウ」
9/5 火~10/17 火	0→3,000m の旅	パネル	特別展「出かけよう! 0→3,000m の旅」
9/5 火~10/30 月	島田翠鳳の花鳥画展	パネル	MMG4 「島田翠鳳の花鳥画展」

10/12 木～11/14 火	おもしろい骨	パネル	連携企画展「おもしろい骨のはなし」
10/17 火～11/14 火	美濃 徳川領国への道	パネル	連携企画展「美濃 徳川領国への道」
11/14 火～1/10 水	百徳きもの	実物	MMG5「百徳きもの展」
12/26 火～1/23 火	ティラノサウルス類の系譜	複製	
1/10 水～1/30 火	廃材アート	実物	MMG「廃材アート」
1/24 水～1/30 火	美しき鉱物	実物	企画展「美しき鉱物の世界」

c. モレラクイズラリー

期間	テーマ	関連展示	担当
7～9 月	岐阜の祭り	特別展「岐阜の祭り みんなのこころ粹」	人文係
9～12 月	植物が彩る物語	特別展「出かけよう！0→3,000mの旅」	自然係
1～3 月	家康	4 年度企画展「天下人家康と美濃の諸将」より出題（大河ドラマ「どうする家康」関連）	人文係

7 資料収集活動

(1) 収蔵資料数 (令和6年3月31日現在)

① 人文分野

分野	資料数 (件)
考 古	461
歴 史	1,421
民 俗	1,649
美術工芸	1,354
合 計	4,885

② 自然分野

分 野	資料数 (件)
動 物	49,393
植 物	91,273
岩石鉱物	2,184
化 石	1,961
合 計	144,811

(2) 令和5年度寄贈資料一覧

① 人文分野

資料名	点数
土岐五家 早引系図	1
土岐家系図	1
土岐家系図	1
先祖書	1
土岐侯御由緒地並城跡等地理記	1
師王御劔事	1
脇差 銘 武蔵守藤原清貞	1

② 自然分野

資料名	点数
オオウエキビ	1
キセルガイモドキ	1
岩石鉱物資料	1
アカショウビン	1
象牙 (アフリカゾウ)	1
カワセミ	1
北海道石	3
ソウシチョウ	13
アズキガイ	2
魚類標本	一式
剥製標本	88
植物腊葉標本	一式
赤坂産の植物化石	1
赤坂産の軟体動物化石	1

(3) 令和5年度購入資料一覧

① 人文分野

購入資料名	点数
簫嶽遠見之図	1
岐阜落城軍記 全	1
羽柴秀吉朱印状	1

② 自然分野

購入資料名	点数
カルカンサイト	1
エリスライト	1
ビビアナイト	1
ラDRAM鉄鉱	1
ルチル イン クオーツ	1
ウバロバイトガーネット	1
ステラーカイギュウ頭骨 (レプリカ)	1
動物頭骨標本	6
動物頭骨標本	3
シカマイア (レプリカ)	1
ティラノサウルス類頭骨 (レプリカ)	3
褐鉛鉱	1
古生物復元模型	4
恐竜足跡化石	1
孔雀石	1
オケナイト	1
アンキロサウルス類の頭骨	1
節足動物化石レプリカ	1
古生物の復元模型	2
恐竜の頭骨レプリカ	2

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

① 催し物開催状況

催し物（館内）は、体験・鑑賞型の「けんぱく教室」（子ども・家族向け）、「講演会」（大人向け：「特別展・企画展講演会」「博物館学芸講座」、三重県総合博物館（MieMu）との交流企画）を、各係が担当して館内、館外において実施した。三重県総合博物館（MieMu）との交流企画では、自然分野の職員を相互に1名ずつ派遣して講演会を開催した。

<催し物開催状況一覧>

事業名	月	日	曜日	定員	参加	事業名	会場（館外）
けんぱく教室	4	16	日	15	13	春みつけ 春の植物をみつけよう	百年公園
	5	3	水祝	25	23	恐竜を造ろう	
	5	3	水祝	20	11	恐竜を組み立てよう	
	5	13	土	80	83	スプリングフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	5	14	日	80	中止	スプリングフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	5	28	日	3×2	4	なりきり武者体験 日本刀でポーズ	
	6	3	土	10×2	12	収蔵庫探検 自然史標本の役割を知る	
	7	2	日	30	82	ハンドメイドゲームで楽しもう	
	7	16	日	40	38	茅の葺き替え作業見学会	旧宮川家住宅
	8	13	日	50	102	三葉虫を取り出そう	
	8	20	日	10	13	アンモナイトで苔テラリウムを造ろう	
	9	17	日	10	14	身近な植物で草木染めをやってみよう	
	9	18	月祝	30	26	徳川家康の古文書を読む	
	9	23	日	30	13	ボタニカルアート ミニ植物標本をつくろう	
	10	1	日	10	1	ゼロからはじまる植物標本1/2	
	10	9	月祝	30	24	ボタニカルアート ミニ植物標本をつくろう	
	10	14	土	80	145	オータムフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	10	15	日	80	111	オータムフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	10	15	日	15	15	秋みつけ 秋の植物やきのこをみつけよう	百年公園
	10	22	日	10	3	ゼロからはじまる植物標本2/2	
	11	3	金祝		161	はっぱでしおり！葉脈標本をつくろう！	
	11	11	土	30	22	平岩親吉の古文書を読む	
	11	18	土	10	12	身近な植物を束ねてスワッグをつくろう	
	11	23	木祝	25	28	恐竜を造ろう	
	11	23	木祝	20	17	恐竜を組み立てよう	
	11	26	日	30	13	ボタニカルアート ミニ植物標本をつくろう	
	12	2	土	50	45	クリスマスナイトミュージアム	
	12	23	土	10×2	22	収蔵庫探検 自然史標本の役割を知る	
	1	7	日		101	正月遊び	百年公園
	1	7	日		中止	七草がゆを食べよう	
	2	3	土	10	17	手羽先で骨格標本づくり	
	2	17	土	10	23	恐竜に色をぬろう	
	3	2	土	50	203	ジオード割り体験	
博物館学芸講座 （講演会）	5	13	土	120	39	学芸講座「描かれた日本の武将たち 錦絵『武者絵』の魅力」	
	6	11	日	120	68	学芸講座「熱田神宮とその宝刀」	
	6	25	日	120	41	学芸講座「小さな化石の大きな発見 篠山層群産の小型爬虫両生類化石」	
	7	17	日	120	53	学芸講座「『緩やかな保存』の提案 地域民具資料のこれからを考える」	
	7	30	日	120	57	学芸講座「古川祭の起し太鼓と屋台行事」	
	8	27	日	120	43	学芸講座「岐阜県民は県の鳥“ライチョウ”が嫌いなのか？」	
	10	22	日	120	34	学芸講座「関市の文化財」	
	11	5	日	120	92	学芸講座「きのこの不思議」	
	11	19	日	120	81	学芸講座「中世の木曾川と美濃路」	
	12	16	土	120	40	学芸講座「意外と知らない、カモノハシの不思議 化石から外交まで」	
	1	14	日	120	101	学芸講座「加藤貞泰と家臣団 ～美濃から伊予大洲へ～」	
	2	18	日	120	103	学芸講座「日本の宝石鉱物 岐阜は宝石鉱物の宝庫」	
	関連講演会	10	8	日	120	108	特別展開連講演会「牧野富太郎の生涯 草木とともに」
交流企画	11	19	日		64	三重県総合博物館交流企画「恐竜学で解き明かす鳥類の進化史」	三重県総合博物館
講演会	1	21	日	120	34	三重県総合博物館交流企画「日本のタナゴ亜科魚類の生態と進化」	

けんぱく教室	31回	1,397名	関連講演会等	1回	108名
学芸講座	12回	752名	交流企画	2回	98名
合計	46回		人数		2,355名

② わくわく体験

わくわく体験コーナーは、主に第2・第4日曜日に開催している。今年度から体験場所を研修室に戻し、8組×4回の入替え制で多くの方が体験できるようにした。体験メニューは「化石取り出し体験」「化石レプリカづくり」「ものづくり体験」の3つを主とし、「ものづくり体験」は企画展、特別展に関連したものとして和紙の花を用いたプレスレットづくり、どんぐりフォトフレーム、鉱物万華鏡などを実施した。

<わくわく体験コーナー>

実施回数	参加人数	実施メニュー
20回	1,779人	化石取り出し体験、化石レプリカづくり、ものづくり体験（和紙の花プレスレット、鉱物万華鏡など）

③ 展示解説

常設展解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。テーマは「恐竜の話」・「合掌造りの話」・「鶴飼の話」・「輪中の話」・「大昔の人々のくらしの話」・「岐阜の大地の成り立ちの話」があり、時期や来館者の様子に応じて内容を選択して実施した。その他、特別展・企画展解説（ギャラリートーク）を実施し、学芸員による専門的な解説を来館者に直接提供した。

<展示解説>

	実施回数	参加人数	内容
常設展	400回	2,697名	解説員による常設展示解説
特別展・企画展	7回	46名	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）
図書館連携企画展	2回	81名	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）
歴史資料館連携展	3回	14名	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）

④ DX（デジタルトランスフォーメーション）事業

令和3年度に導入した「けんぱくデジタル展示室」、令和4年度に導入した「恐竜化石コンテンツ」（恐竜ARアプリ、恐竜VR体験）、刀剣鑑賞デジタルコンテンツ「刀剣鑑賞自由自在」は多くの来館者に利用いただいている。今年度は「恐竜化石コンテンツ」の恐竜VR体験を常設展示として設置し、いつでも来館者に利用いただけるようにした。「刀剣鑑賞自由自在」に新規データを追加搭載した。

⑤ 団体利用

これまで新型コロナウイルス感染の拡大により団体利用が減少したり、度重なる予定変更があったりしたが、今年度は多くの団体が当初の計画通り利用することができた。解説員による「恐竜の話」については、一度にメインホールで聞くことができる人数を40人（1クラス相当）までとし、解説内容を1人1人が理解できるようにした。雨天時の昼食場所として屋外のピロティを提供し、学校判断で使用可とした。

学習活動では、生活科との関連を図った「秋みつけ」を博物館サポーターの協力を得ながら実施した。今年度は百年公園の改修工事に伴い十分な活動でできないことにあり、職員が制作した「秋のおもちゃ遊び体験」を活動に位置付け、希望する学校団体に提供した。ワークシートを用いたセルフガイドや化石レプリカづくりの体験メニューが好評で、例年に比べて多くの学校団体が採用し、楽しんでいた。

<団体利用>

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
4	6	木	本巣郡北方町	キッズボンド北方	幼・小・高	16	自由見学
4	8	土	山県市	放課後デイサービス キッズウェイブ	小・中・高	16	展示解説（恐竜の話）・化石レプリカづくり
4	16	日	関市	岐阜県警察学校	初任科生	116	展示解説（恐竜の話）・自由見学
4	30	日	各務原市	放課後等デイサービス ラルジュ蘇原	小・中	9	自由見学
5	10	水	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小2	59	展示解説（恐竜の話）・化石レプリカづくり・展示セルフガイド
5	11	木	各務原市	オプリージュインターナショナル幼稚園 各務原校	幼	17	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
5	12	金	関市	小金田保育園	年中	34	自由見学
5	16	火	関市	関市立旭ヶ丘中学校1年生	中1	129	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド・里山オリエンテーリング

5	18	木	岐阜市	県教委センター研修「授業づくりサポート(生活科)」	教員	7	学芸員解説(自然展示室)・屋外観察
5	19	金	岐阜市	県教委センター研修「博物館活用講座」	教員	20	学芸員解説(自然展示室)・屋外観察・収蔵庫見学
5	25	木	稲沢市	稲沢市立下津小学校	小3	94	展示解説(恐竜の話)・化石レプリカづくり・展示セルフガイド
5	27	土	本巣市	放課後等デイサービス 虹の森	小・中	25	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
6	9	金	岐阜市	岐阜県中学校理科教育研究会	教員	42	
6	9	金	各務原市	ヒストリー各務野会	一般	10	学芸員解説(企画展示室)・自由見学
6	13	火	岐阜市	岐阜市立西郷小学校	小1	85	展示解説(恐竜の話)・化石レプリカづくり・展示セルフガイド・春みつけ
6	14	水	岐阜市	岐阜県高等学校教育研究会 公民地歴部会	教員	76	
6	21	水	岐阜市	岐阜県小中学校教育研究会 英語部会	教員	78	
6	21	水	郡上市	郡上市立川合小学校	小5	17	展示セルフガイド
6	28	水	中津川市	中津川市立坂本小学校	小4	125	展示セルフガイド
6	29	木	各務原市	各務原市立各務原特別支援学校	中1	20	学芸員解説(自然観察)・展示セルフガイド
7	23	日	岐阜市	ボーイスカウト岐阜17団ビーバー隊	小・中・高	20	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
7	28	金	岐阜市	オプリージュインターナショナル幼稚園舎	幼・少	15	展示セルフガイド
7	30	日	あま市	ソレオスポーツクラブ	小	50	自由見学
8	2	水	岐阜市	グローアップ八代	小・中	25	自由見学
8	2	水	岐阜市	岐阜県文化財保護協会	一般	25	学芸員解説(特別展「岐阜の祭り」)・自由見学
8	9	水	羽島郡岐南町	放課後等デイサービス ふらわぁ	小	14	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
8	12	土	美濃加茂市	放課後等デイサービス てくてく	小・中・高	13	自由見学
8	18	金	岐阜市	岐阜県中学校理科教育研究会	教員	150	学芸員解説(自然展示室)・収蔵庫見学
8	29	火	可児市	ふぁーすとすてっぷ	小	9	展示解説(恐竜の話)・自由見学
9	1	金	飛騨市	飛騨市立神岡小学校	小5	42	展示セルフガイド
9	20	水	本巣市	本巣市立一色小学校	小1	27	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
9	21	木	岐阜市	一般社団法人虹色サポート レインボーグループ	小	45	自由見学
9	26	火	多治見市	多治見市立滝呂小学校	小3	70	展示解説(恐竜の話)・化石レプリカづくり・秋みつけ・学芸員解説(古い道具と昔の暮らし)・展示セルフガイド
9	27	水	各務原市	西ライフデザインセンター	一般	21	学芸員解説(特別展「出かけよう!0→3,000mの旅」)・自由見学
9	28	木	岐阜市	岐阜県教育委員会 教育研修課	教員	53	展示セルフガイド・どんぐり独楽づくり・野外観察
9	29	金	岐阜市	岐阜県教育委員会 教育研修課	教員	40	展示セルフガイド・どんぐり独楽づくり・野外観察
9	29	金	関市	関市立小金田中学校	中1	27	自由見学
9	30	土	岐阜市	合資会社フェニックス	小	10	展示解説(恐竜の話)・化石レプリカづくり・自由見学
10	4	水	関市	関市立上之保小学校	小1・2	8	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	4	水	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	小6	11	学芸員解説(岐阜県の鉱物)・自由見学
10	5	木	瑞穂市	瑞穂市立中小学校	小1	26	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
10	6	金	各務原市	福祉の里あすなろ	小	33	自由見学
10	11	水	関市	関市立南ヶ丘小学校	小1・2	25	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	11	水	羽島市	アイカラーズ羽島江吉良校	小・中	13	化石レプリカづくり・自由見学
10	12	木	関市	関市立富岡小学校	小1	66	展示解説(恐竜の話)・学芸員解説(昆虫の話)・秋みつけ

10	12	木	関市	関市立板取小学校	小2	4	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	13	金	岐阜市	岐阜市立鷺山小学校	小1	76	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	17	火	関市	関市立博愛小学校	小1	23	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	17	火	養老郡養老町	養老町立日吉小学校	小5	13	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・組紐づくり
10	17	火	羽島郡笠松町	笠松町立笠松小学校	小1	41	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	18	水	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小1	63	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	19	木	岐阜市	県教委センター研修「博物館活用講座」	教員	13	学芸員解説(自然展示室)・屋外観察・収蔵庫見学
10	19	木	揖斐郡大野町	大野町立大野小学校	小3	47	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・洗濯体験
10	19	木	関市	関市立倉知小学校	小1	68	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	20	金	関市	関市立金竜小学校	小1	73	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
10	20	金	美濃市	美濃市立藍見小学校	小6	17	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
10	20	金	一宮市	ラポルトインターナショナルキンダーガーデン	年中	26	展示解説(恐竜の話)・自由見学
10	21	土	岐阜市	岐阜聖徳学園大学 初等生活Ⅱ	学生	13	自然観察
10	22	日	岐阜市	岐阜聖徳学園大学 初等生活Ⅱ	学生	11	自然観察
10	24	火	関市	関市立洞戸小学校	小1・2	21	展示セルフガイド・秋みつけ・工作活動
10	24	火	関市	関市立武儀小学校	小1・2	27	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	25	水	関市	関市立富野小学校	小1	11	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	25	水	関市	関市立瀬尻小学校	小1	80	展示解説(恐竜の話)・秋みつけ
10	26	木	関市	関市立倉知小学校	小2	88	展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	26	木	羽島郡笠松町	笠松町立松枝小学校	小1	73	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	27	金	羽島郡岐南町	岐南町立北小学校	小1	49	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
10	27	金	関市	関市立安桜小学校	小1	65	展示解説(恐竜の話)・学芸員解説(昆虫の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	27	金	岐阜市	保存協会岐阜地区研修会	一般	30	学芸員解説(美濃 徳川領国への道)・自由見学
10	28	土	大垣市	放課後デイ スケッチブック	小	15	自由見学
10	31	火	加茂郡川辺町	川辺町川辺東小学校	小1	28	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	31	火	郡上市	郡上市立相生小学校	小5	25	展示セルフガイド
11	1	水	各務原市	各務原市立鶴沼第一小学校	小1	108	展示セルフガイド・秋みつけ
11	1	水	関市	関市立下有知小学校	小1	45	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	2	木	関市	関市立安桜小学校	小2	74	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	2	木	加茂郡富加町	富加町立富加小学校	小1	48	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	2	木	岐阜市	岐阜市立日野小学校	小1	54	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
11	5	日	美濃市	藍見公民館 子供生涯学習館	小・一般	66	展示解説(恐竜の話)・化石取り出し体験・自由見学
11	7	火	関市	関市立田原小学校	小1	38	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	7	火	岐阜市	岐阜市立岩野田小学校	小1	65	展示解説(恐竜の話)・化石レプリカづくり・展示セルフガイド・秋みつけ・秋のおもちゃ遊び体験
11	7	火	加茂郡七宗町	七宗町立上麻生小学校	小1・2	22	学芸員解説(昆虫の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	8	水	関市	関市立武芸小学校	小1・2	25	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	8	水	江南市	江南市立古知野北小学校	小2	80	展示解説(恐竜の話)・化石レプリカづくり
11	9	木	関市	関市立瀬尻小学校	小2	55	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド

11	10	金	本巣市	本巣市立席田小学校	小1	49	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋のおもちゃ遊び体験
11	14	火	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小1	60	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	14	火	各務原市	各務原市立稲羽東小学校	小1	21	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ・秋のおもちゃ遊び体験
11	14	火	各務原市	新生こどもえん	幼	40	自由見学
11	14	火	高岡市	高岡市連合自治会	一般	21	学芸員解説(美濃 徳川領国への道)・自由見学
11	15	水	岐阜市	岐阜市立三里小学校	小1	98	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	15	水	美濃市	美濃市立中有知小学校	小1	37	展示セルフガイド・秋みつけ
11	16	木	羽島郡岐南町	岐南町立東小学校	小1	121	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
11	17	金	岐阜市	岐阜市立早田小学校	小1	50	展示解説(恐竜の話、鶴飼の話)・展示セルフガイド
11	21	火	羽島市	羽島市立中央小学校	小3	112	展示解説(恐竜の話)・学芸員解説(古い道具と昔のくらし)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
11	22	水	加茂郡川辺町	川辺町立川辺北小学校	小1	12	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ・工作活動
11	22	水	多治見市	多治見市立南姫小学校	小4	29	展示セルフガイド
11	22	水	東京都品川区	美濃の正倉院と飛騨・美濃の古仏	一般	19	自由見学
11	24	金	岐阜市	岐阜市立島小学校	小1	132	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	24	金	加茂郡八百津町	社会福祉法人清流会 わたげの家	一般	50	自由見学
11	28	火	下呂市	下呂市立上原小学校	小5	7	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
11	30	木	大垣市	大垣市立小野小学校	小2	148	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
12	2	土	岐阜市	一般社団法人虹色サポート レインボーグループ	小	16	自由見学
12	6	水	加茂郡東白川村	東白川村立東白川小学校	小4	14	展示解説(輪中の話、合掌造りの話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
12	7	木	不破郡垂井町	不破郡垂井町立宮代小学校	小4	27	展示解説(輪中の話)・展示セルフガイド
12	7	木	本巣郡北方町	岐阜農林高等学校 森林科学科	高1	42	展示セルフガイド・野外観察
12	7	木	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年少	36	展示解説(輪中の話)・自由見学
12	9	土	岐阜市	岐阜県中学校教育研究会 英語部会	教員	51	
12	9	土	岐阜市	一般社団法人虹色サポート レインボーグループ	小	18	自由見学
12	13	水	羽島市	羽島市立堀津小学校	小1	27	化石レプリカづくり・自由見学・秋みつけ
12	14	木	犬山市	犬山市立東小学校	小3	50	化石レプリカづくり・秋みつけ・展示セルフガイド・秋のおもちゃ遊び体験
12	19	火	可児市	可児市立土田小学校	小1	82	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋のおもちゃ遊び体験
12	21	木	可児市	可児市立東明小学校	小2	41	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
1	11	木	可児郡御嵩町	岐阜県立東濃高等学校	高2	10	自由見学
1	17	水	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年少	38	自由見学
1	18	木	大垣市	大垣市立中川小学校	小3	123	展示解説(恐竜の話)・学芸員解説(古い道具と昔のくらし)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
1	19	金	本巣市	本巣市立本巣小学校	小1	44	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋のおもちゃ遊び体験
1	25	木	本巣郡北方町	岐阜農林高等学校 動物科学科	高1	40	学芸員解説(自然展示室)・自由見学・野外観察
1	27	土	岐阜市	株式会社 ナナホシ岐阜事業所	小	16	展示解説(恐竜の話)・化石取り出し体験・自由見学
2	2	金	岐阜市	岐阜県中学校理科教育研究会	教員	33	
2	15	木	岐阜市	一般社団法人虹色サポート レインボーグループ	小	13	自由見学

2	16	金	関市	虹ヶ丘幼稚園	年長	61	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
2	17	土	本巣市	コノミテラス	小	16	自由見学
2	17	土	岐阜市	一般社団法人虹色サポート レインボーグループ	小	28	自由見学
2	23	金	岐阜市	JAF岐阜支部	一般	40	学芸員解説(美しき鉱物の世界)、化石取り出し体験・化石レプリカづくり
2	28	水	本巣郡北方町	JAぎふ(北方)	一般	13	自由見学
3	7	木	美濃加茂市	美濃加茂市立あじさい保育園	幼	85	展示セルフガイド
3	12	火	関市	中部学院大学留学生別科	学生	24	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
3	13	水	加茂郡川辺町	川辺町立川辺西小学校	小1	41	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・化石レプリカづくり
3	15	金	加茂郡坂祝町	遊々こども園	幼	53	自由見学
3	23	土	岐阜市	岐阜県自然観察指導連絡会	一般	16	
3	27	水	岐阜市	キッズステーションあおぞら芥見	中・高	8	自由見学
3	30	土	江南市	児童発達支援 放課後等デイサービス イロドリ飛高	幼・小・中	18	自由見学

	団体数	人数
学校団体(幼保含む)	85校	4,207人
学校以外の団体	46団体	1,436人
合計	131団体	5,643人

⑥ 出前授業・講師派遣・リモート授業

今年度も例年と同様に、出前授業・リモート授業を実施した。依頼のあった件については、招聘先として各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的にご活用された。今年度は特に教員向けに当館の活用事例を紹介する機会を増やし、学校団体利用の促進を図った。リモート授業においては理科や社会科の学習の一環として授業の内容に博物館の展示を活用した。これまででは当館からリモート授業の要請を行ってきたが、少しずつではあるが学校側からの要請が増えつつある。

<出前授業・講師派遣> (教育普及)

期日	依頼者(会場)	対象	人数	講演内容
令和5年5月18日(木)	岐阜県小学校社会科教育研究会(オンライン)	教員	50	岐阜県博物館の役割と活用
令和5年6月2日(金)	岐阜県小学校理科教育研究会(オンライン)	教員	45	岐阜県博物館の役割と活用
令和5年6月16日(金)	瑞穂市教育研究会小学校理科部会(瑞穂市立牛牧小学校)	教員	25	岐阜県博物館の役割と活用
令和5年6月25日(日)	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ	一般	264	化石レプリカづくり
令和5年6月29日(木)	岐阜市立長良小学校	小6・保護者	98	岐阜県博物館の紹介・化石レプリカづくり
令和5年6月30日(金)	高山市立江名子小学校	小5・小6	80	岐阜県博物館の紹介・化石レプリカづくり
令和5年7月2日(日)	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ	一般	308	化石レプリカづくり
令和5年8月10日(木)	美濃市藍見公民館(藍見地域ふれあいセンター)	一般	10	化石レプリカづくり・葉脈標本づくり
令和5年8月18日(金)	美濃市小矢田公民館(小矢田地域ふれあいセンター)	一般	22	勾玉づくり
令和5年11月18日(土)	ぎふサイエンスフェスティバル2023	一般	328	化石レプリカづくり
令和5年12月12日(火)	下呂市立馬瀬小学校	小6	10	化石レプリカづくり・化石取り出し体験
令和6年1月16日(火)	西ライフデザインセンター(各務原産業文化センター)	一般	29	化石レプリカづくり・各務原の地層の解説
令和6年2月1日(木)	土岐市立肥田中学校	中1	54	岐阜県博物館の紹介・化石レプリカづくり
令和6年2月20日(火)、 21日(水)	美濃加茂市立西中学校	中1・中2	455	岐阜県博物館の紹介・化石レプリカづくり(中1)・化石取り出し体験(中2)
令和6年3月20日(水)	たじみこどもフェスタ(パロー文化ホール)	一般	506	化石レプリカづくり

<リモート授業> (教育普及)

期 日	相手先	対象	人数	授 業 内 容
令和5年5月27日(土)	こどハピ	一般	66	恐竜の話
令和5年7月14日(金)	揖斐川町立大和小学校	小6	22	大昔の人々の暮らし
令和5年7月19日(水)	関市立下有知小学校	小6	65	大昔の人々の暮らし
令和5年7月20日(木)	本巣市立弾正小学校	小6	47	大昔の人々の暮らし
令和5年8月30日(水)	関市立旭ヶ丘小学校	小6	66	大昔の人々の暮らし
令和5年9月1日(金)	本巣市立根尾学園	義6	5	大昔の人々の暮らし
令和5年9月12日(火)	岐阜市立加納中学校	中3	35	恐竜の話
令和5年9月13日(水)	本巣市立真桑小学校	小6	101	大昔の人々の暮らし
令和5年10月18日(水)	多治見市立脇の島小学校	小6	34	大昔の人々の暮らし
令和5年12月1日(金)	瑞穂市立牛牧小学校	小6	68	恐竜の話、自然展示室内の解説
令和5年12月5日(火)	瑞穂市立牛牧小学校	小6	57	恐竜の話、自然展示室内の解説
令和5年12月6日(水)	郡上市立大和北小学校	小6	28	恐竜の話
令和5年12月12日(火)	本巣市立本巣小学校	小6	46	恐竜の話
令和5年12月13日(水)	本巣市立一色小学校	小6	32	恐竜の話
令和5年12月15日(金)	岐阜市立加納西小学校	小6	42	恐竜の話
令和5年12月15日(金)	高山市立丹生川小学校	小6	40	恐竜の話
令和5年12月22日(金)	郡上市立八幡小学校	小4	43	輪中の話
令和6年1月25日(木)	岐阜市立合渡小学校	小6	55	恐竜の話
令和6年1月30日(火)	土岐市立肥田中学校	中1	54	恐竜の話
令和6年2月22日(木)	岐阜市立鏡島小学校	小6	96	恐竜の話
令和6年2月27日(火)	岐阜市立藍川中学校	中1	88	恐竜の話
令和6年2月28日(水)	山県市立美山中学校	中1	40	恐竜の話
令和6年3月5日(火)	郡上市立高鷲中学校	中1	26	恐竜の話
令和6年3月5日(火)	岐阜市立加納中学校	中1	34	恐竜の話
令和6年3月13日(水)	岐阜市立加納中学校	中1	37	恐竜の話
令和6年3月21日(木)	本巣市立真正中学校	中1	114	恐竜の話

<出前授業・講師派遣> (自然)

期 日	依頼者(会場)	対象	人数	講 演 内 容
令和5年5月31日(水)	関市立田原小学校	小4	52	河川に生息する生物について
令和5年8月7日(月)	特定非営利活動法人 白川郷自然共生フォーラム	小4~中3	20	恐竜のお話・野外巡検
令和5年8月10日(木)	特定非営利活動法人 白川郷自然共生フォーラム	小4~中3	20	恐竜のお話・野外巡検
令和5年8月25日(金)	小牧市中央図書館	小中学生	15	手羽先で骨格標本をつくらう
令和5年12月3日(日)	丹波市教育委員会	一般	100	岐阜の恐竜化石研究調査

⑦ 資料貸出

	機関名	資料名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
自然	世界淡水魚園水族館アクアトトぎふ	カモノハシ剥製、アロサウルス頭骨など	令和5年4月15日	令和5年7月19日	4
	可児市立旭小学校	動物の頭骨標本	令和5年4月15日	令和5年4月22日	6
	岐阜市立長良西小学校	ノウサギ骨格標本など	令和5年5月30日	令和5年6月9日	4
	エコミュージアム関ヶ原	昆虫標本	令和5年6月21日	令和5年9月8日	1
	岐阜市立長良西小学校	オオアカゲラ剥製など	令和5年6月20日	令和5年7月3日	3
	長良川うかいミュージアム	サツキマス模型など	令和5年7月5日	令和5年10月6日	2
	丹波市立丹波竜化石工房	ステゴサウルス頭骨など	令和5年7月12日	令和5年9月10日	4
	各務原市立緑陽中学校	始祖鳥レプリカ、動物骨格など	令和5年7月14日	令和5年7月26日	8
	高山市立花里小学校	化石レプリカセット	令和5年9月1日	令和5年9月10日	30
	エコミュージアム関ヶ原	サンバ剥製など	令和5年8月30日	令和5年11月27日	8
	揖斐川町立揖斐川中学校	鳥類骨格標本など	令和5年9月19日	令和5年10月21日	9
	三重県総合博物館	ダチョウ骨格など	令和5年9月22日	令和5年12月25日	3
	酒井佐輔	岐阜県産白亜紀植物化石	令和5年10月5日	令和6年1月11日	11
	各務原市立桜丘中学校	ライオン頭骨レプリカなど	令和5年10月20日	令和5年10月27日	2
	岐阜県立岐阜農林高等学校	鳥類剥製	令和5年11月8日	令和5年12月20日	20
	岐阜市立加納小学校	ハト骨格標本	令和5年11月25日	令和5年11月26日	1
	岐阜県立岐阜農林高等学校	外来動物標本	令和5年12月10日	令和5年12月26日	19
	世界淡水魚園水族館アクアトトぎふ	ラモプリズマトウーリトゥスの標本など	令和5年12月16日	令和6年4月7日	4
	山県市立伊自良中学校	化石レプリカセット	令和6年2月25日	令和6年2月27日	30
	人文	多治見市美濃焼ミュージアム	織部燭台	令和5年4月1日	令和6年2月16日
タリイピアセンター歴史民俗資料館		刀 銘 美濃国住人藤原永貞／文久四歳二月於東都作之	令和5年10月13日	令和5年12月20日	1
岐阜市歴史博物館		円満寺山古墳出土品	令和6年3月15日	令和6年6月7日(予定)	5
合 計					176

⑧ 画像提供等

	機関名	資料名	申請日(提供日)	点数
自然	岐阜大学野生動物資源学研究室	哺乳類保護毛及び下毛	令和5年4月10日	5
	福谷 愉海	アオドウガネ、ドウガネブイブイの標本	令和5年5月5日	一式
	株式会社柘の葉書房	コマクサ、オニバスの画像	令和5年7月20日	2
	岐阜地方气象台	今村式2倍強震計	令和5年6月12日	1
	藍見地域ふれあいセンター	地震解説パネル(電子ファイル)など	令和5年8月30日	1
	西上原 三千代	ヨシなど(画像)	令和5年10月31日	4
	世界淡水魚園水族館アクアトトぎふ	ラモプリズマトウーリトゥスの標本など(画像)	令和5年12月16日	3
	講談社学芸第二出版部	ホモ・ハイデルベルゲンシス(画像)	令和5年12月14日	1
	大藪 隼平	ミノタウラサウルス頭骨複製	令和6年1月5日	1
	荻山 恒弘	イワヘゴ	令和6年1月12日	10
	岐阜新聞社読者事業室出版室	ヒメハルゼミ、ブッポウソウの画像	令和6年1月22日	2
	岐阜県立瑞浪高等学校	ジオランドぎふ地質図及び地層画像	令和6年1月26日	7
	京都文化博物館	シカマイア・アカサカエンシス復元模型(画像)	令和6年2月2日	1
	企画・編集工房 あみや	飛水峡の層状チャート(画像)	令和6年3月5日	1
	有限会社 大悠社	イグアノドン(イグアノドン)の全身骨格レプリカ(画像)	令和6年3月4日	1
	人文	(株)ゴッズダイナミックワールド	篠脇城復元模型	令和5年5月6日
NHK Eテレ「ザ・バックヤード〜知の迷宮の裏側探訪〜」(編集担当(株)トスプランニング)		板垣君遭難之図(歌川豊宣)	令和5年5月10日	1
(株)岐阜新聞社		源三位頼政鶴退治(歌川国芳)	令和5年5月23日	1
(株)岐阜新聞社		美濃の国合戦(歌川芳虎)	令和5年5月23日	1

(株) 岐阜新聞社	岐阜市街大地震之図 (歌川国利)	令和5年5月23日	1
テレビ放送「みの・ひだ情報局」(NHK 岐阜放送局)	太平記英雄鑑 (歌川芳虎)	令和5年5月23日	1
『近代日本暗殺史』(編集担当 (株) PHP 研究所)	板垣君遭難之図 (歌川豊宣)	令和5年6月15日	1
NHK テキスト趣味どきっ! 「刀剣 Lovers コレクション」(編集担当 (株) グレイル)	刀 銘 兼元	令和5年8月11日	1
『旅の手帖』2023年11月号(10月10日発行)(株) 交通新聞社 旅の手帖編集部	刀 銘 兼元	令和5年8月24日	1
(株) 大垣ケーブルテレビ	熊坂長範 (歌川貞房)	令和5年9月21日	1
岐阜新聞社デジタル戦略室	稲葉正成像	令和5年10月17日	1
各務原市教育委員会文化財課	特別展『壬申の乱の時代—美濃国・飛騨国の誕生に迫る』図録掲載「壬申の乱図」	令和5年10月24日	1
NHK E テレ「偉人の年収 How much? #24 新島八重」(編集担当 TBS SPARKLE)	木曾街道六十九次之内京都鶴大尾 (歌川国芳)	令和5年10月26日	1
「戦国時代のタイムライン」(編集担当朝日新聞出版)	真書太閤記 本能寺焼討之図 (揚斎延一・延重)	令和5年11月8日	1
個人	徳川家康書状	令和5年12月5日	1
岐阜市歴史博物館	円満寺山古墳出土銅鏡	令和5年12月10日	3
合 計			59

⑨ 特別利用 (資料調査)

	機 関 名	資 料 名	申請日 (提供日)	点数
人 文	岐阜関ヶ原古戦場記念館	土俵空穂 稲葉正成画像 平岩親吉書状	令和6年1月18日	3
合 計				3

⑩ 刊行物

名 称	種 別	発行年月日	判、仕様	部数
岐阜県博物館報第46号	刊行物	令和5年4月1日	A4、39頁	700
岐阜県博物館調査研究報告第44号	刊行物	令和6年3月31日	A4、26頁	600
令和5年度 展示・催し物年間スケジュール	リーフレット	令和6年3月31日	A4、3ツ折	40,000
2024 教員のための博物館の日 in 岐阜県博物館	チラシ	令和6年3月31日	A4、両面	1,800
【展覧会刊行物】				
企画展「錦絵からみた武士の世界」	ポスター	令和5年4月15日	B2、片面	1,600
企画展「錦絵からみた武士の世界」	チラシ	令和5年4月15日	A4、両面	34,000
博物館・図書館連携企画展「岐阜の城館探訪II」	ポスター	令和5年4月22日	B2、片面	1,600
博物館・図書館連携企画展「岐阜の城館探訪II」	チラシ	令和5年4月22日	A4、両面	34,000
特別展「岐阜の祭り みんなのこころ粋」	ポスター	令和5年7月7日	B2、片面	2,000
特別展「岐阜の祭り みんなのこころ粋」	チラシ	令和5年7月7日	A4、両面	100,000
特別展「岐阜の祭り みんなのこころ粋」	図録	令和5年7月7日	A4、52頁	600
移動展「絶滅から救え! ぎふの鳥ライチョウ」	ポスター	令和5年7月15日	B2、片面	1,400
移動展「絶滅から救え! ぎふの鳥ライチョウ」	チラシ	令和5年7月15日	A4、両面	30,000
特別展「出かけよう! 0→3,000mの旅 -植物が染る物語-	ポスター	令和5年9月15日	B2、片面	2,000
特別展「出かけよう! 0→3,000mの旅 -植物が染る物語-	チラシ	令和5年9月15日	A4、両面	100,000
特別展「出かけよう! 0→3,000mの旅 -植物が染る物語-	図録	令和5年9月15日	A4、68頁	600
博物館・岐阜大学・名古屋大学博物館連携企画展「おもしろい骨のはなし」	ポスター	令和5年10月23日	B2、片面	1,400
博物館・岐阜大学・名古屋大学博物館連携企画展「おもしろい骨のはなし」	チラシ	令和5年10月23日	A4、両面	30,000
企画展「美しき鉱物の世界」	ポスター	令和5年2月8日	B2、片面	1,600

企画展「美しき鉱物の世界」	チラシ	令和5年2月8日	A4、両面	34,000
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション 第204号	チラシ	令和5年4月8日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第205号	チラシ	令和5年5月27日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第206号	チラシ	令和5年7月22日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第207号	チラシ	令和5年9月23日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第208号	チラシ	令和5年11月11日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第209号	チラシ	令和6年1月20日	A4、両面	1,500
マイミュージアムギャラリー	ポスター	令和6年3月31日	B2、片面	1,600
マイミュージアムギャラリー	チラシ	令和6年3月31日	A4、両面	14,000

⑪ 図書館資料（令和6年3月31日現在）

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	24,622	
郷 土 資 料	6,265	
児 童 書	1,185	
博 物 館 資 料	6,106	含 当館資料、棚橋文庫
合 計	38,178	

(2) 広報活動

入館者及びの館外での博物館利用者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

① 館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近及び2カ月内に開催予定の催し物情報を示し、百年公園来園者に対する当館への誘導を行った。また、特別展・企画展開催中であることを、公園北口から館入口までの各掲示板にポスターを用いてアピールした。

② 館内掲示の活用

館入口から本館インフォメーションまでの入館者の移動経路上に、過去の特別展・企画展のポスターアーカイブ、人文・自然分野の特集、館内見どころ案内などを掲示して、博物館の活動や所蔵資料等に対する入館者の興味関心の高揚に努めた。

③ 情報誌の積極的な活用

県内及び近隣の県で発行されている情報誌、博物館や観光地を紹介するウェブサイトの読者プレゼントコーナーに招待券を提供した。展覧会の内容に興味関心がある方々が自身で応募されているので、提供した招待券の多くが活用されている。

④ 情報配信メールの活用

情報配信リストに登録された方に、催し物や講演会、各種講座の開催情報を提供した。情報配信のテンプレートを改良したことで分かりやすい案内にするだけでなく、予約システムへのリンクを設定することで、スマホから直接申し込みができるようにして利便性を高めた。

⑤ SNSによる積極的な情報の発信

当館公式 X を積極的に活用し、楽しくてためになるタイムリーな情報発信に努めた。日頃から SNS に慣れ親しんでいる若い世代への情報提供に役立ち、「いいね」の数が増えてきている。その他、開催するイベント告知だけでなく、各係・学芸員発の専門色のある旬の情報発信も好評だった。

⑥ 人気マスコットキャラクターの活用

当館の人気キャラクターの「博くん」「アロちゃん」「デスマスさん」を館内外の掲示や SNS へ登場させて、広報大使を務めさせた。また、日本各地の博物館・美術館の公式キャラクターが出演する「ミュージアムキャラクターアワード 2023」にアロちゃんを立候補させた。その結果 1,944 票を獲得して 17 位となった。

(3) 博物館実習（学生向け）

8月23日（水）から8月27日（日）までの5日間の予定で、岐阜大学（1名）、愛知学院大学（1名）、奈良大学（1名）、宮崎大学（1名）、東海大学（1名）、駒沢大学（1名）、の6大学から6名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、人文4名、自然1名、教育普及1名であった。実習計画は下記の通りである。

<実習計画>

第1日目	実習開講式、館長講話、学芸部長講話、岐阜県博物館の概要、博物館学芸員の仕事、教育普及係の仕事、人文係の仕事・人文資料の概要
第2日目	自然係の仕事・自然資料の概要、マイ・ミュージアム係の仕事、分野別実習
第3日目	分野別実習
第4日目	分野別実習
第5日目	分野別実習

(4) 職場体験学習（中学生）

関市及び岐阜市、羽島市の中学校4校から職場体験学習の依頼を受け、各校1日～2日間の日程で実習を行った。主な内容として「広報物の発送作業」「団体対応」「掲示物づくり」「恐竜VRの体験補助」などの教育普及業務を行った。

期間	学校	人数	日数
8月24日	羽島市立羽島中学校	1名	1日
10月17日、18日	関市立緑ヶ丘中学校	4名	2日
10月25日、26日	岐阜市立藍川中学校	5名	2日
11月1日、2日	関市立桜ヶ丘中学校	2名	2日
2月2日	岐阜市立長良中学校	1名	1日

(5) 教員のための博物館の日（団体利用説明会）

国立科学博物館が提唱する教員向けプログラム「教員のための博物館の日」により、学校関係者の入館料を減免して、博物館の魅力を知ってもらおうと実施した。あわせて、9月以降に来館予定の学校団体向けの団体利用説明会を実施して、利便性を図った。ホームページでの開催告知、県内高等学校・特別支援学校への電子メールでの案内、小・中学校への案内チラシの配布など周知に努めた。

実施内容は、各展示解説、ものづくり体験、博物館の活用例紹介などの時間割をあらかじめ組んでおき、参加者個々が好きなプログラムを選択して参加できる方法を採用した。

展示解説や体験メニューを実際に体験してもらえたことで、団体の利用計画に盛り込む学校が多く、秋以降の学校団体の活動の充実にも大いに役立った。参加者からの反応も大変よく、特に学芸員による専門的なワンポイント解説は好評であった。

教育委員会や放課後デイサービス事業者、など、学校教員以外の参加もあった。

	開催日	参加者数（人）
1日目	7月25日（火）	20
2日目	7月26日（水）	39
3日目	7月27日（木）	46
4日目	7月28日（金）	71

<実施内容>

学芸員解説	人文展示室解説、自然展示室解説
解説員解説	恐竜の話、昔の道具の話、大昔の人々の暮らし
教育普及活動紹介	授業で活用できる資料や講座等紹介
わくわく体験	化石レプリカづくり、組紐ストラップづくり

(6) 三重県総合博物館（MieMu）との交流事業

今年度も、三重県総合博物館との交流企画として、互いの職員が出向いて講演会を行った。

【三重県総合博物館（MieMu）からの派遣】

日時	令和6年1月21日
演題	「日本のタナゴ亜科魚類の生態と進化」
講師	北村 淳一（三重県総合博物館 学芸員）
会場	岐阜県博物館

【岐阜県博物館からの派遣】

日時	令和5年11月19日
演題	「恐竜学で解き明かす鳥類の進化史」
講師	高津 翔平（岐阜県博物館学芸員）
会場	三重県総合博物館（MieMu）

9 利用状況

(1) 利用者数

令和5年度の入館者数は50,423人で、昨年度とほぼ同様の入館者数だった。今年度は春、夏の入館者数が例年より少なく、冬の入館者数は例年より多かった。特に企画展「美しき鉱物の世界」の会期中は、1日に900人を超える日があり、大変好評だった。岐阜県図書館での連携企画展、飛騨高山まちの博物館での移動展、岐阜大学での連携企画展など館外で行った展覧会も好評で、館外利用者数は昨年度よりも増加した。

月	館内利用						館内及び館外利用
	開館日数	総入館者数	一般	大学生	高校生以下	一日平均	
4	26	2,872	1,916	17	939	110.5	5,025
5	26	4,313	2,660	89	1,564	165.9	6,918
6	26	3,339	2,173	45	1,121	128.4	5,395
7	26	3,569	2,260	46	1,263	137.3	13,222
8	24	4,347	2,797	89	1,461	181.1	24,397
9	26	3,277	2,158	34	1,085	126.0	20,948
10	26	4,627	2,700	52	1,875	178.0	9,402
11	26	5,947	3,285	23	2,639	228.7	15,179
12	25	2,362	1,517	9	836	94.5	5,104
1	24	3,643	2,241	13	1,389	151.8	3,781
2	25	6,192	4,089	50	2,053	247.7	6,921
3	27	5,935	3,560	110	2,265	228.3	6,652
計	307	50,423	31,356	577	18,490	164.2	122,948

特別展	期間	期間中入館者数
岐阜の祭り みんなのこころ粋	7/7(金)～9/3(日)	7,364人
出かけよう！0→3,000mの旅 -植物が彩る物語-	9/15(金)～12/3(日)	11,554人

(2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握して今後の博物館運営に生かすために、アンケート調査とその結果を考察している。このアンケートは、県政モニターの方に回答していただいたり、館内数か所に設置した回収箱付近で、来館者が自発的に記入して投函したりする方法で行っているものである。

【表1 来館目的（複数選択可 n=672、R5年4月～R6年3月）】

目的	回答数	構成比
特別展・企画展の観覧	251	37.4%
常設展	153	22.8%
マイミュージアムの観覧	60	8.9%
催し物への参加	28	4.2%
講座・講演会	15	2.2%
初めてで興味があった	85	12.6%
公園に来て	49	7.3%
その他	31	4.6%

来館目的では、表1に示すように、「特別展・企画展」「常設展」の2項目が多く、この傾向は例年と変わらなかった。「初めてで興味を持ったので(12.6%)」が例年より多く、SNSの発信や各種メディアへの情報提供、民間施設など館外での出展などによる広報活動が功を奏したものと考えられる。また、「催し物への参加」、「講座・講演会の参加」も増加していることから、展覧会と関連した催し物・講座・講演会を実施することが重要だと再認識できた。

【表2 来館者の満足度（選択式 n=480、R.5年4月～R.6年3月）】

※選択肢は「大変良い」「まあ良い」「あまり良くない」「良くない」の4つ。このうち前2者、後2者をそれぞれ合わせた割合を、満足、不満足として示す。

内容	満足	不満足
特別展・企画展	97.0	3.0
常設展	97.1	2.9
MMG	96.8	3.2
展示解説	96.4	3.6
催し物	97.0	3.0

[%]

来館者の満足度については、表1に示すように、いずれも95%以上と高い。特別展・企画展もさることながら、常設展のよさにも気づいていただけていることがわかる。催し物の満足度が昨年よりも高くなっていた。要因は、展覧会と関連した催し物、その年の世相に応じた催し物を実施したからと考えられる。

記述式による回答には、「特別展に展示された山車から、祭りに対する人々の思い入れを感じ、歴史や文化を大いに感じた」「連続テレビ小説に合わせて、植物の特別展を実施してもらえてよかった。」「久しぶりに博物館に来て、鉱物の展示に心を動かされた。など、県博物館としての存在意義を示すような意見も複数見られた。建物や展示物の老朽化の指摘や交通の便、など、ハード面に関する要望もあった。館内外にある魅力的な資源（物的、人的、環境的など）の活用など、ソフト面におけるさらなる工夫改善・充実を図っていく。

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を深めることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

令和5年度の一般会員数は283名、後援会員は6団体である。会員数はコロナ明けで微増。特別展・企画展の充実により加入者は増えている。その一方で、継続会員の高齢化が進み、退会者も多いのが現実である。

若い人たちをより惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

令和5度の主な事業、行事は次の通りである。感染予防のため、中止した事業もある。

① 会議

春季理事会・総会 5月11日(木)
秋季理事会 10月12日(木)
会長・副会長会議 令和6年 3月 9日(土)

② 各種委員会

会報委員会 4月13日(木)
七草委員会 11月17日(金)
探訪委員会 2月2日(金)
会計監査 4月15日(木)

③ 広報誌の発行

「友の会報」は137号(6月) 138号(10月) 139号(2月)の年3回発行した。「会員の声」を多く掲載、A4判6頁モノクロ、280部(139号は290部)。また、会報の一部を博物館HPに掲載した。

④ 図録の刊行と在庫図録の販売

特別展に合わせ、「岐阜の祭り みんなのこころ粹」、「出かけよう! 0→3,000mの旅 -植物が彩る物語」を、また、「岐阜県博物館所蔵 赤羽刀図録」と3種類の図録を刊行した。館内ショップでの販売と、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館」、「下呂発温泉博物館」での委託販売が中心である。また、発行後年数がたっている図録を求められる方も多い。

⑤ 博物館との共催事業の実施

- ・特別行事 「七草がゆを食べよう」(1月7日予定)は新型秋季理事会・七草委員会で議論し、感染症予防のため中止を決定した。
- ・わくわく体験、けんぱく教室
館内のわくわく体験や館内館外でのけんぱく教室の開催を支援した。

⑥ 友の会員の入館料助成・博物館事業の普及

今年度の会員の博物館入館者は、常設展350人、特別展255人の計605人。入館料(団体料金相当)の全面減額をしていただいている。それに対して、会の角2封筒に博物館HP・X(旧ツイッター)のQRコードを掲載する、チラシの配付数・回数を増やす等、博物館の広報に努めた。また、

ミュージアムショップの充実をはかったり図書資料を寄贈したり等、博物館の運営、博物館の来館者満足度の向上に資することにつとめた。

⑦ 探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を実施している。昭和61年以降、国内探訪として、歴史的名所、旧蹟を訪ねる旅行を83回実施した。平成4年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、これまでに15回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。
- ・会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。

令和5年度の春の探訪の旅は中止したが、宿泊探訪の旅は12月5日(火)～7日(木)に「復元された鶴丸城御楼門と神話の里高千穂を訪ねる旅」(参加者20名)を4年ぶりに実施した。

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

令和5年度は県民文化講演会「岐阜の山城—その魅力を探る—」のほか、公開講座(年4回)、機関紙発行(年2回)、会員研修会(年1回)等の諸事業を行った。

令和6年3月現在、会員館は111館、個人会員は16名。主な役員は次のとおりである。

会長：若宮 多門
副会長：名和 哲夫、日比野 克彦、森島 勝博
石崎 泰之、牛丸 岳彦

なお、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/13	第1回企画委員会
6/7	第1回理事会・総会・会員研修会
7/1・7/2	飛騨ブロック 公開講座
7/17	中濃ブロック 公開講座
7/26	第2回企画委員会
9/30	機関紙『岐阜の博物館』No. 193発行
10/20	中濃ブロック 公開講座
11/14	第47回東海三県博物館協会研究交流会(三重)
11/19	岐阜ブロック 公開講座
1/27	県民文化講演会「岐阜の山城—その魅力を探る—」
2/8	会員研修会・東濃ブロック 公開講座 「刀剣類の取り扱いを学ぶ」
2/14	第3回企画委員会
3/6	第2回理事会
3/31	機関紙『岐阜の博物館』No. 194発行

IV 利用案内（令和6年度）

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分（入館は16時まで）
11月～3月 9時30分～16時30分（同上）

- 入館料

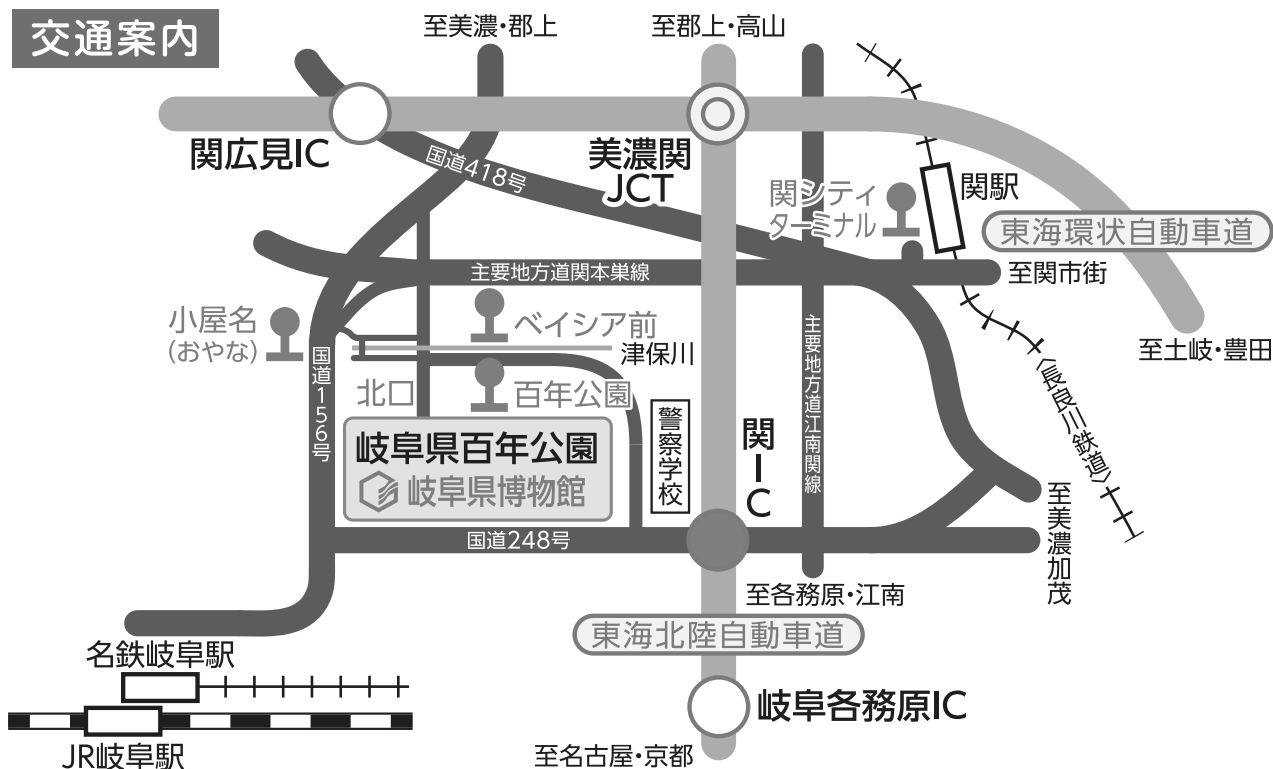
区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	特別展開催中	
一般	340(280)円	800(700)円	無料
大学生	110(50)円	400(300)円	
高校生以下	無料	無料	

（ ）は20名以上の団体

- 休館日
 - ・月曜日（祝日または振替休日の月曜日は開館し、その直後の平日が休館）
 - ・年末年始（12月29日～翌年1月3日）

- 駐車場 岐阜県百年公園北口駐車場をご利用ください。

交通案内



- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分

- 岐阜バス（小屋名バス停下車 徒歩20分）

※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。（岐阜関線、岐阜美濃線）

※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。（岐阜関線）

- 関シティバス（百年公園バス停下車 300m）

※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。（わかさ・小金田線）

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場（無料）をご利用ください。

北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所までお申し出ください。

※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km（勾配有り）です。

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

岐阜県博物館報 第47号

令和6年（2024）4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館
関市小屋名1989（岐阜県百年公園内）
TEL <0575> 28-3111
印刷 株式会社 大六印刷



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～

2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)